

「細川連立政権の政治過程」

この日表は、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科「ガバナンス論」(2013年度秋学期、清水担当)において、各回ごとに報告者が作成した政策過程日表をまとめたものである。
担当者、担当箇所は下記のとおりである。

1993(平成5)年

7月1日～8月31日 清水唯一朗(総合政策学部准教授、政策・メディア研究科委員)
9月1日～9月30日 田中宏基(総合政策学部3年)
10月1日～10月31日 濱田英明(総合政策学部4年)
11月1日～11月30日 三谷宗一郎(SFC研究所研究員(訪問))
12月1日～12月31日 大西友貴(政策・メディア研究科前期博士課程2年、GRプログラム所属)

1994(平成6)年

1月1日～1月31日 小野田亮(政策・メディア研究科前期博士課程1年、GRプログラム所属)
2月1日～2月28日 陳雅霜(政策・メディア研究科前期博士課程1年、PSプログラム所属)
3月1日～3月31日 綿井文亮(総合政策学部3年)
4月1日～4月30日 田中宏基(前掲)

【凡例】

出典は、下記の通り略称を用いて表記した。

(細川日記)細川護熙『内訟録』日本経済新聞社、2010年
(263日)長田達治『細川内閣・263日』行研、1997年
(草野連立)草野厚『連立政権』文藝春秋、1999年
(平野20年)平野貞夫『平成政治20年史』幻冬舎、2008年
(田中さきがけ)田中秀征『さきがけと政権交代』東洋経済新報社、1994年
(村山回顧録)村山富市、葉師寺克行『村山富市回顧録』岩波書店、2012年
(武村オーラル)武村正義、御厨貴、牧原出『聞き書き武村正義回顧録』岩波書店、2012年
(石原オーラル)石原信雄、御厨貴、渡辺昭夫『首相官邸の決断』中央公論社、1997年
(成田回顧録)成田憲彦『政治改革法案の成立過程』『北大法学論集』46号、北海道大学大学院法学研究科、1996年
(自民党農政史)吉田修『自民党農政史』大成出版社、2012年

慶應義塾大学総合政策学部
清水唯一朗研究室
yuichiro@sfc.keio.ac.jp
(2014.2.10)

年月日	政府	連立各党	自民党ほか	社会・国際	出典
1992/6/15			PKO協力法案、衆院で可決、成		石原オーラル
1992/8/20			金丸副総裁に佐川急便からの政		平野20年
1992/8/27			治資金5億円の提供が報じられ		草野連立
1992/10/14			金丸、副総裁の辞任を表明。		草野連立
1992/10/28			金丸、議員辞職。		草野連立
1992/10/28			小淵恵三、経世会会長に就任。羽		草野連立
1992/12/11			田を推す小沢、敗れる。		石原オーラル
1992/12/11			羽田、小沢ら、竹下派を離脱。		石原オーラル
1992/12/12	宮沢改造内閣発足。		自民党幹部交代。幹事長に梶山		石原オーラル
1992/12/12			静六氏。		石原オーラル
1992/12/18			羽田、小沢ら、「改革フォーラム		平野20年
1992/12/18			21」を結成。		平野20年
1993/2/17			竹下、小沢両氏、佐川事件に関連		石原オーラル
1993/2/17			して衆院予算委員会で証人喚問。		石原オーラル
1993/3/6			金丸前副総裁、脱税容疑で逮捕。		草野連立
1993/3/6					草野連立
1993/4/1	宮沢首相、記者会見。政治改革の				平野20年
1993/4/1	断行を表明。				平野20年
1993/4/8	後藤田外相、健康問題から辞任し			カンボジアで国連選挙監視ボラ	
1993/4/8	た渡辺美智雄氏のあとを受けて副			ンティアの中田厚仁さん射殺さ	
1993/4/8	総理に就任。			れる。	
1993/5/4				PKO派遣中の高田晴行警部	
1993/5/4				補、武装集団意襲われ死亡。	
1993/5/25			若手議員の会、野党と妥協してで		草野連立
1993/5/25			も今国会で政治改革を断行すべ		草野連立
1993/5/25			きと219名の議員署名を集める。		草野連立
1993/6/9		社会党、大敗を受け山花委員長		皇太子・雅子妃結婚の儀。	村山回顧録
1993/6/9		辞任説が浮上。自衛力と日米安		皇太子・雅子妃結婚の儀。	村山回顧録
1993/6/16		保を許容する93年宣言案を策			平野20年
1993/6/16		野党六会派党首会談。内閣不信			平野20年
1993/6/16		任案の提出を決定。			平野20年
1993/6/18	宮澤・羽田会談。				草野連立
1993/6/18	内閣不信任案、可決。羽田らが賛	夜、武村らが自民党を離党。新			草野連立
1993/6/18	成票を投じる。武村らは反対票。	党さきがけの結党を表明。21日、			草野連立
1993/6/18	臨時閣議、解散を決定。	結党。			草野連立
1993/6/23		羽田、小沢ら、新生党を結党。羽			石原オーラル
1993/6/23		田代表、小沢代表幹事。			石原オーラル
1993/6/27		新生、社会、公明、民社、社民連			平野20年
1993/6/27		の5党首会談。選挙協力で合意。			平野20年
1993/6/27		外交防衛政策の継承、連絡協議			平野20年
1993/6/27		会の設置など。			平野20年
1993/7/1	金			経済四団体、政治献金先を保	読売930702
1993/7/1	金			守新党にも広げる方針を表明。	読売930702

1993/7/2	土				読売、政治資金をめぐる主要企業30社アンケートの結果を発表。政治献金を見直す必要を認める企業が8割。	読売930702
1993/7/2	日		プレスセンターで5党首討論。山中社会党委員長、非自民非共産連立の意向を示す。	宮沢首相、5党首討論で政治改革継続の意向を表明し、国民の理解と支持を求める。過半数割れであれば連立政権を模索する意向を	読売、衆院選挙前有権者アンケートの結果を発表。自民過半数割れの予測が6割、政権交代予測が8割に達する。	読売930702、03
1993/7/3	月		細川、武村代表、衆院選後の政権構想に関して、協力は政策ごとに行うと強調。自民との協力の余地も残す。 日本新党、さきがけ、選挙協力に合意。			読売930704
1993/7/4	火	第40回衆議院議員総選挙、公示。保守合同以後最多の955名が立候補。	山花委員長は政権交代を強調、石田委員長は自民を批判し新党は未知数と牽制、羽田投手は非自民糾合、大内委員長は野党改革、細川代表は是々非々、武村代表は政治外郭の核となると主	宮沢総裁、選挙演説で政権安定の必要を強調。		読売930705
1993/7/5	水				日興証券、歴代蔵相経験者すべてに献金する方針を表明。	読売930706
1993/7/6	木	宮澤・クリントン会談。日米間で新経済協議機関の設置をめざす。			読売、日米首脳会談をつけえ、経済鎖国利、安保のみ結束誇示でサミットに向けて不安が残ったと評。	読売930707
1993/7/7	金	東京サミット開幕。第1回会議で米欧から日本の巨額の経常黒字が焦点となる。 日本、アメリカ、EC、カナダの経済買手両会議、関税撤廃を蒸留酒など8品目とすることで合意。			Jリーグ前期、鹿島アントラーズが優勝。	読売930708
1993/7/8	土	東京サミット、北朝鮮のNPT復帰などを求める政治宣言を採択。紛争回避のために国連を強化する方針。 日口首脳会談。領土問題は公式訪問時に協議することで調整。関係打開の糸口みえず。 宮中晩餐会。雅子妃、皇室外交デ		後藤田副総理、緊急入院。ポスト宮澤の有力候補であり、政界に衝撃。		読売930708夕 読売930709

1993/7/9	日	東京サミット、経済宣言を採択。日本に内需主導型成長に向けた財政金融政策を求める。新ラウンド交渉の年内合意も明記。				読売930709夕
1993/7/10	月	日米新経済協議、枠組み合意。数値目標は見送る。	細川、武村代表、衆院選後は当然政権の枠外から活動することで合意、発表。	首相、遊説先で東京サミットの成果と国際国家としての日本の責任を強調し、政権担当経験のない非自民政権構想を牽制。	読売、サミットは終了し、首相は交渉者ぶりを発揮する場面もあったものの、総選挙の勝利に結びつけるには国内情勢が厳し	読売930710夕 読売930710 読売930711
1993/7/11	火			井上国土庁長官らの自民党費をゼネコン3社が立て替えていたことが報じられる。	イラク、国連査察団によるミサイル発射場封鎖を拒否。	読売930711 読売930712
1993/7/12	水				夜、北海道西方を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生。奥尻島で被害甚大。死者行方不明者140名を越す。政府、災害対策本部を設置。	読売930713 読売930713夕
1993/7/14	木				読売、週末の世論調査の結果を発表。自民は過半数は難しいものの公示前を上回る公算、日本新党が大躍進するが社会党	読売930714
1993/7/15	金				読売世論調査統報。政治改革取りも福祉・景気対策重視の結果と。政界再編は6割が「進まず」と見ている。 読売、羽田首相擁立が非自民結集の鍵と論じる。連立参加5党は悲観的とも。 公明党の市川書記長は、首相指名投票は第1回から羽田氏に投票する意向を示す。	読売930715 読売930716
1993/7/16	土			後藤田氏、退院。		読売930717
1993/7/18	日	第40回衆議院議員総選挙投票日。自民4減の223、社会は67減の70。新生が19増の55、日本新党が35と躍進。宮沢首相は退陣	社会党、大敗を受け山花委員長辞任説が浮上。	後藤田氏再入院。	名古屋場所千秋楽。曙、巴戦で若貴を連覇し、横綱になってはじめての優勝を飾る。貴乃花の横綱昇進見送りか。	読売930719 263日

1993/7/19	月	昼、宮沢首相記者会見。退陣の明言を避ける。自民党の下野も否定。	午前、細川・武村会談。連立には当面参加せずと。記者会見で年内合併を表明。 新生党の船田元、テレビ番組で細川首相も選択しと発言。社会党・赤松書記長も山花氏擁立にこだわらない旨を表明。公明党・市川書記長は日本新党・さきがけに連立参加を促す発言。連合・山岸会長は公明党に社会党丸抱えを要請。 細川・武村・田中、「政治改革政権の提唱」を作成。	未明、梶山幹事長が宮沢総裁の辞任に向けたコメントを記者会見で述べる。 昼の宮澤会見を受け、辞任論高まる。 自民党若手の太田誠一ら、首相退陣を求める声明を発表。	読売、三極化で政局が不安定となるのではないかと懸念を示す。 経団連・平岩会長、自民・日本新党・さきがけの協力による政権運営が現実的と述べる。 IAEAと北朝鮮、核査察協議再開で合意。	読売930719夕 武村オール 263日 読売930719 読売930720 読売930720夕
1993/7/20	火	閣僚懇談会の席上、小泉郵政相が首相に辞任を求める。昼、小泉郵政相が辞任。井上国土庁長官、中村建設大臣も首相の責任問題に言及。	夜、武村代表がテレビで「連携の条件は小選挙区比例代表並立制」と述べる。 社会党中央執行委員会。山花委員長、連立に失敗すれば辞任と表明。	午後、党本部で開かれた結束・前進の会で辞職表明のないことに不満噴出。宮沢総裁、すでに腹は据えていると答える。 夜、武村発言に三塚政調会長が呼応。並立制の方向を打ち出す。	読売、首相は辞めるべきとする速見経済同友会幹事のインタビューを掲載。 景気動向指数、ふたたび50%を割る。	読売930720夕 読売930721 263日 読売930720
1993/7/21	水		赤松社会党書記長、竹下追加公認を「選挙しのぎのポーズだった」と批判。 日本新党議員総会。細川氏、第1回投票はさきがけとの会派独自候補、第2回は非自民のまとまり具合を見て判断と。出席者からは非自民連立の声。 新生党幹部から武村代表に「細川氏でまとめたい」との打診、武村氏、断る。	渡辺美智雄、テレビ朝日の番組で宮澤後継への意欲を示す。 自民党、竹下元首相の追加公認を発表。避難を浴びる。	大関若乃花、誕生。「一意専心」。 読売、ゼネコンの違法献金が知事、市長ら10数人に及んでいたと報じる。	263日 読売930721夕

1993/7/22	木		<p>公明党石田幹事長、読売のインタビューに対して細川首相も選択肢と答える。</p> <p>午前、社会党中央執行委員会。非自民統一候補への投票を主張する久保副委員長に汎論多数。</p> <p>午前、細川・小沢会談。小沢、細川を首相に推す。細川、これを田中、武村に話す。ともに反対を表明。</p> <p>細川代表、記者会見で非自民寄りのスタンスをはじめて示し、分裂なき自民党との連携を否定。</p> <p>夜、武村・小沢会談@全日空ホテル。細川の首相就任に反対を伝</p>	<p>午前、金丸前副総裁の初公判。脱税については認め、裏献金疑惑に対しては無罪を主張。</p> <p>午後1時、自民党両院議員総会。宮沢総裁、退陣表明。幹部の責任問題をめぐり紛糾。</p> <p>総裁選出の方法は領袖による「前進の会」ではなく、両院議員総会での投票に。</p>		<p>読売930722</p> <p>読売930722夕</p> <p>263日</p> <p>武村オーラル</p> <p>読売930731</p> <p>読売930723</p>
1993/7/23	金		<p>連合・山岸会長、社民連・江田代表とともに細川と会談。</p> <p>午前、細川・武村、「政治改革政権」の提案を記者発表。小選挙区比例代表並立制の導入など。これに賛成する政党と連立すると。公明、新生、民社、社民連、提案受入を決定。</p>		<p>竹内茨城県知事、ゼネコン汚職疑惑で逮捕。</p>	<p>263日</p> <p>読売930724</p>
1993/7/24	土		<p>非自民非共産5党、国対委員長会談。「政治改革政権」案への賛成を確認、交渉の方法を協議。</p>			<p>読売930724夕</p>
1993/7/25	日		<p>武村代表、地元の講演で非自民政権の可能性が高いことを示唆。</p>	<p>後藤田氏退院。総裁就任を否定。小渕派は橋本氏支持を表明。</p>	<p>読売、さきがけ内に反小沢の声が高いことを受けて、小沢氏が離党を条件に羽田首相への同調を求める意向と報じる。</p> <p>読売、社会党衆議院議員へのアンケートを発表。自衛隊違憲論がなお圧倒的と。</p>	<p>読売930725</p> <p>263日</p>
1993/7/26	月		<p>午後、社会党代議士懇談会。非自民連立への挑戦を懇願する山花委員長に異論続出、執行部退陣論が出るも、議論まとまる。</p>		<p>読売、日本新党、さきがけが非自民政権参加を固めたと報じる。</p>	<p>263日</p> <p>読売930726</p>

1993/7/27	火		細川・武村会談。非自民代表者会議への参加を主張する細川と自民党の歩み寄りを評価する武村。細川は記者会見で、非自民政権造りをやめることはないとする。 社会党全国書記長会議。山花委員長、辞意を表明するも連立政	午前、総務会で並立制導入を党議決定。		読売930727
1993/7/28	水		細川・武村・三塚会談。自民との連立はないと正式に伝える。	総裁選に河野、渡辺両氏が届け出。後藤田、三塚、橋本などの擁立が流れるなど、混乱の様相を見	読売、連立に向けた人事駆け引きが始まったと報じる。	読売930728 読売930728夕
1993/7/29	木		午後5時、連立各党党首会談。連立政権に関する基本政策、重要政策に合意、発表。			読売930730
1993/7/30	金		衆院議長に土井氏、社会党久保氏、公明党坂口氏の入閣説濃厚と報じられる。	午後1時、両院議員総会にて総裁選投票。208票と49票差をつけ、河野氏が第16代総裁に選出。派閥の流動化が進むか。	石川日商会頭、ゼネコン献金問題の責任をとって辞任。	読売930730夕 読売930731
1993/7/31	土	細川氏、官房長官に武村氏を推				
1993/8/1	日		社会、新生、公明、民社書記長レベル会談で閣僚人事について協議。日本新党、さきがけ幹部、不快感を示す。 軽井沢で細川・田中会談。田中、細川内閣でいけるとの感触を得		読売、新内閣の人事を「見えない」「自民型」「新しい政治とは言えない」「陰で小沢采配」と批判。	読売930802 田中さきがけ 読売930801
1993/8/2	月	読売、細川氏は政治改革の実現に限定した暫定政権ではなく、本格政権をめざし、山花委員長を入閣させる意向と報じる。 羽田蔵相、大内防衛相、畑郵政相などが固まる。外相は民間から登用の方向。	細川氏、軽井沢から上野へ。午後、堤清二・下河辺。夜、江藤淳。 土井元委員長、衆院議長への就任打診に難色。山花委員長が説得を続ける。		未明、EC蔵相会議、為替変動幅の大幅拡大で合意。	読売930802 読売930802夕 読売930803 細川日記
1993/8/3	火	中村建設相、賞幹部の大手ゼネコンへの天下りを当面自粛する方針を明らかにする。	細川氏、予算編成シーリングについての説明を受ける。特別枠を廃してメリハリをつけることに。年内編成の方針で規定通り進めることに。 熊日社長・羽田・細川会談@赤坂プリンス。		円、104年35銭と二日連続で東京最高値。	読売930803夕 細川日記 読売930804

1993/8/4	水	政府、従軍慰安婦問題について、「相対的には募集に強制性があった」とする報告書をまとめ、韓国側に伝える。河野官房長官が談話を	細川氏、夕方に鈴木行革審会長、宮内オリックス社長と会談。			読売930804夕 細川日記
1993/8/5	木	第127特別国会、招集。連立与党と自民党が幹事長・書記長会談の開催方式をめぐる対立のため、議長選出、首相指名に至らず。連立与党側の出席者を1名に絞るべきとする自民と、5名とする連立与党の主張が平行線。昭和22年の第1特別議会以来のこと。新政権発足まで宮沢内閣が執行することに				読売930806
1993/8/6	金	午前までに協議整わず。午後から天皇のベルギー訪問が予定されているため、新内閣の発足は帰国後の9日以降に。定例の閣議(宮澤職務試行内閣による)は開かれず。午後、細川首相を指名。点呼ミスによる再投票を経て。連立内閣は9日発足に。			鹿児島で集中豪雨。列車を降りて避難中の乗客が土石流に遭い、50人が海に流される。読売、国会のルール作りが急務になっていると論じる。竹内茨城県知事、辞職。米国上院、財政調整法案を1票差で可決。巨額の財政赤字解消へ。	読売930806夕 読売930807 読売930807夕
1993/8/7	土	午前、細川氏報道各社のインタビューに応じる。9月にも訪米の意向を示す。午前、細川・小沢・武村会談。組閣協議。武村のリークに小沢が不快感を示す。細川「人を用うるの道はその長所をとりて短所は構わぬことなり。」「疑えば任ずるなかれ、	各党党首と会談し、人事調整が本格化。社会6、新生5、公明4、日本新党2、さきがけ1、社民連1。日本新党分は民間人が充てられる見込み。			読売930807夕 細川日記
1993/8/8	日	官房副長官、新生の二階氏からさきがけの鳩山氏に変更。武村氏が官邸は日本新党とさきがけで固めるべきとしたためという。細川氏、終日記者会見の準備。	内閣の顔ぶれ決まる。新設の政治改革担当相に山花氏。五十嵐自治、久保田建設、佐藤運輸、伊藤経済企画、上原北海道沖縄開発、江田科技、羽田副総理・外相、中西防衛、渡部、畑、熊谷が未定。石田総務、神崎郵政、坂口労働、広中環境。		読売、閣僚人事に組閣本部を置かない方法を評価しつつも、推薦方式、政党ごとの枠設定などは旧来型と批判。鹿児島豪雨、災害対策本部の設置がままならず。内閣不在のため。	読売930810 細川日記 武村オーラル 読売930808

1993/8/9 月	<p>法相に三ヶ月章東大名誉教授が就任の方向と報じられる。細川内閣発足。新生は大蔵は藤井、農水に畑、通産に熊谷で決定。運輸に伊藤、建設に五十嵐、自治に佐藤、経済企画に久保田と、社会の大臣候補に担当入れ替わり有り。民間からは文部に赤松。記念撮影は階段でという慣例を破って中庭で。</p> <p>首相、報道各社のインタビューに対して「責任ある変革」をキャッチフレーズにすると答える。</p> <p>概算要求基準は13日に閣議決定、藤井蔵相、8月中に各省に予算要求書提出を求める。赤字国債は発効しない方針。</p> <p>韓国金泳三大統領から祝賀の電話。</p> <p>夜、齊藤大蔵次官から政府税調における審議の進め方について説明を受ける。「実施は再来年7月」。</p>	<p>議運理事会、会期の14日延長を決定。8月28日までとし、首相の所信表明演説は23日に行うことに。</p>	<p>自民、三役以外の主要人事を決定。ポスト減で難航し、派閥均衡型に落ち着く。</p>	<p>米国政府筋、細川内閣の発足に懸案解決の期待を示す。各省庁の官僚、社会党大臣の就任などに困惑。</p> <p>マンガ「サンワリ君」、細川政権の発足に一念発起したラーメン店主が「名物殿様ラーメン」の張り紙を出すも「どんな内容のラーメンにしたらいいだろう」「その辺の処は新総理に似ている」と皮肉る。</p> <p>NATO大使会議、ボスニア空爆を承認。</p>	<p>読売930809 細川日記 読売930809夕 読売930810夕</p>
1993/8/10 火	<p>首相、就任後初の記者会見。9月に臨時国会を召集し、政治改革に取り組むとし、予算配分方式の見直しにも意欲を見せる。</p> <p>「政治改革法案が年内成立せざる場合政治セ系人取る旨」を明言。立ったまま、ペンで記者を指名するスタイルが話題を呼ぶ。「幹事社に限定せず、外国プレスも指</p>		<p>田中真紀子氏ら女性議員、執行部との懇談会。新政権の足をひっぱるなど苦言。</p>	<p>読売、首相が翻って特別国会での所信表明に踏み切ったのは、組閣でもたついたうえの、さらなるイメージダウンを回避するためと。</p>	<p>読売930810夕 細川日記 読売930810</p>
1993/8/11 水	<p>武村官房長官、政治改革についての与党基本合意を来週前半までに行いたいと表明。</p> <p>首相、さきがけの田中秀征議員を戦後初の首相特別補佐に任命。次官、内閣室長、政府系金融機関の長などあいさつに相次いで来訪。主計局長から防衛予算のシーリングについて説明。</p>	<p>山花委員長、辞意を表明。</p>			<p>読売930811夕 読売930812 細川日記 村山回顧録</p>

1993/8/12	木	<p>政府、政務次官人事を決定。新生党が大臣を務めるポストに公明党の政務次官が任命される。防衛次官、防衛予算の上積みを求める。国民感情に鑑みて前年比1.95%増に収めるよう指示。円高進むことへの懸念。事務次官会議にて防衛外交における政策継承を確認。9条は現時点であえて変える必要を感じない。午後、大出法制局長官から憲法問題のブリーフィング。1票制2票制について尋ねる。1票制は困難なよう。</p>	<p>連立与党による政治改革法案、小選挙区250、比例250の2票制と報じられる。小沢氏、特別委員会の理事に内定。個人的には一票制がよいと思うと発言。山花委員長、党中央執行委員会で委員長辞任を正式表明。政治改革相は辞せずと。直後、再出馬への意欲を示す。小沢氏、政治改革委理事を辞退。</p>		<p>東京地検特捜部、竹内前茨城県知事を起訴。</p>	<p>読売930812 細川日記 読売930812夕 読売930813</p>
1993/8/13	金	<p>午前、予算シーリングを閣議了承。投資的経費5%、経常経費10%減。特別枠の廃止。公共事業のシェア見直しが課題。新味を出したいが、枠は前政権で決まっています。困難。首相、鹿児島県の被災地を視察。帰京時の飛行機内で、一票制には憲法上の問題があると否定的な見解を示す。法制局の見解に沿い、小沢氏らの主張は望ましくないとするもの。首相の「侵略戦争」発言をきっかけ、高輪でテニス。</p>	<p>小沢氏、記者会見で、小選挙区比例代表並立制の導入後、連立与党は自民党に対抗すべく、直ちに新党を試行すべきと述べる。</p>		<p>円、一時101円台に突入。モンデール新駐日大使宣誓式後の記者会見で、細川外交の出方に注目すると発言。</p>	<p>細川日記 読売930813夕 読売930814 読売930814夕</p>
1993/8/14	土	<p>首相、18日まで夏休みに入る。</p>				<p>読売930815</p>

1993/8/15 日	<p>靖国参拝見送り。戦争責任者を神としてまつることは一國も納得できないと。</p> <p>民としても日本武道館で戦没者追悼式。首相「アジア近隣に哀悼の意を表す」と異例の式辞。土井衆院議長も同様。</p> <p>藤井蔵相ら新生党閣僚4名が靖国参拝。畑外相は一般客と混じって参拝。</p> <p>武村官房長官、テレビ番組で一票制の導入は困難と述べる。</p> <p>夜、武村、鳩山、石原官房副長官(事務)、田中らと所信表明演説の健康診断。</p>		<p>自民各派、夏の派閥研修会を相次いで延期。</p> <p>靖国参拝議連、侵略戦争と断定するのは問題で、遺族の心情もくんでほしいと首相を批判。</p>	<p>読売、民社・大内委員長は本来自民党寄りの発言を繰り返しており、小沢氏に近い米沢書記長との確執が際立っていたと。</p> <p>ドイツ・シュツットガルトで行われている世界陸上女子マラソンで浅利純子が金メダル。</p>	<p>細川日記 読売930815 読売930816夕</p>
1993/8/16 月	<p>軽井沢へ。所信表明演説の打ち合わせ、円急騰の報告など、電話とFAXに追われる。政治改革よりもさきに景気対策というハードルを設定される。</p> <p>夕食後、松永信雄と外交懇談。対口は領土問題を拡大させず民生安定を絡めてと。内田健三と政治</p>			<p>経団連、政治献金全廃の方針を固める。</p> <p>円相場、一時100円台に。</p>	<p>細川日記 読売930816夕</p>
1993/8/17 火	<p>軽井沢。鳩山、田中、井出と懇談。</p> <p>首相、軽井沢のホテルで宮沢前首相と会談。田中同席。外交についての認識はほぼ同じ。中国に対する懸念、常任理事国入りとNPT延長問題は「中途にしてある」と。</p> <p>細川、宮澤の見識を評価。フォーマル発表前首相、政治改革実現への期待を表明。</p> <p>天皇訪欧の首席随員に海部元首相。羽田外相が政治改革で離れられず、与党内に外相経験者がないたため、調整が難航していた。</p> <p>夜、首相、堤義明と会食。</p> <p>第二前川レポートのための私的諮問機関設置を所信表明に盛り込むよう東京に指示を出す。</p>	<p>さきがけと日本新党(統一会派)のあいだに人事をめぐるすさまじい風が吹いていると報じられる。</p>		<p>東京も100円台に。</p>	<p>細川日記 読売930817 読売930817夕 読売930818</p>

1993/8/18	水	昼食後、帰京。	社会党拡大三役会議、山花氏の 辞任問題を棚上げすることを決 定。 社会党政治改革プロジェクト、並	自民、選挙協力に向けた領袖会 議開催へ。		細川日記 読売930819
1993/8/19	木	朝、経済情勢臨時懇談会を開き、 円高への対応を協議。緊急経済 対策関係閣僚会議を設置し、当面 の景気経済対策をまとめること に。差益還元、規制緩和が中心と なるか。 首相、経団連平岩会長と会談。10 月で任期切れとなる行革審に関 連して、行政改革の推進に強い意 欲を示す。 首相、平岩氏に新前川レポートの 座長就任を依頼。平岩氏、承諾。 11:00、クリントン大統領より祝意 月例経済報告閣僚会議。6月に示 した景気好転の判断を「足踏み」と 修正。閣議では経済の実態はもつ と厳しいのではないかとの意見が 相次ぐ。 鈴木都知事と会談。金・韓日議連 会長と会談。 昼食後、官房長官、副長官、田中 とティータイム。はじめてのこと と耳目を惹く。 緒方貞子口頭難民弁務官。人道 大国めざすべきと。 新聞各社論説委員と懇談。 ギボンズ米国下院貿易小委員 長。 羽田外相、戦後補償問題につい て、国家間賠償は解決済み、人道 午前、公邸にて写真撮影。		河野総裁、自民党も二票制を軸に 小選挙区300、比例171とする案を 基本とすると表明。首相の戦争発 言については、遺族への配慮も求 める。	米国連邦銀行が協調介入、104 円台に急落。 6月の米国貿易赤字、44%増の 120億ドルと発表。	読売930819夕 細川日記 読売930820
1993/8/20	金	上原沖開相、AWACSの導入に慎 重な姿勢を示す。地元沖縄での記 者会見で。 夕方、檀ふみと映画鑑賞。その 後、投影社長も交えて夕食。	公明党石田委員長、二票制で妥 協の可能性を示す。		ボスニア和平交渉、包括和平案 が提示される。	細川日記 読売930820夕 読売930821 読売930821夕
1993/8/21	土				読売、予算は大枠決定している ため新味がなく、連立与党は目 玉の発掘に腐心していると。 藤山一郎、没。	読売930822 読売930821夕 読売930822

1993/8/22	日	秘書官たちと政治改革以外の重要課題について点検。直間比率など税の問題を所信表明に含めるかなど。難問山積。政府、起業・団体献金廃止の方向を固める。	公明党臨時大会。石田委員長、政権交代可能な二大政党を目指す方針を示す。			細川日記 読売930823
1993/8/23	月	首相、衆院本会議で所信表明演説。政治改革の年内断行、戦争責任へのお詫びを表明。首相の訪米・日米首脳会談は来月27日と。防衛庁、来年秋を目処にアジア太平洋地域の制服組対話を計画。	昼、政府与党首脳会議。政治改革案を早期にまとめるよう、首相から依頼あり。社公民が所得税減税を求めるも、首相は難色を示す。外交日程について紹介。日米首脳会談の実現が好評。小沢氏から官房長官の政治改革案取りまとめ内容の発言について重ねて注意依頼。社会党、代議士懇談会。小選挙区制でも独自候補の擁立を視野	自民党、政治改革推進議連と党政治改革本部の活動が重複。別の思惑があるのではとの疑念が鼓吹されていると報じられる。	高校野球決勝。育英(兵庫)が優勝。	読売930823 細川日記 読売930823夕 読売930824
1993/8/24	火	閣議。規制緩和、円高差益還元について各大臣に陣頭指揮を指示。日商会頭交代パーティー。平岩研究会、景気対策などについて述べる。午後、各国大使、ダイエー中内氏	与党各派代表者会議、政治改革をめぐる論戦となる。代表者会議を最終的な決定機関とすることは合意。	政治改革本部初会合。並立制への異論が続出。	日本商工会議所、7月30日の石川会頭辞任以来空席となっていた会頭に稲葉興作氏を選出。米国政府、パキスタンへのミサイル関連技術輸出違反のかどで対中経済制裁の発動を決め	細川日記 読売930824夕 読売930825 読売930825夕
1993/8/25	水	9月に設置予定の経済構造改善諮問委委員会。座長に平岩経団連会長が決まる。首相、代表質問への答弁。企業団体献金の廃止、所得税減税への慎重な姿勢を示す。駐米大使、小和田氏の起用が内定。「やるかやれぬかではなく、何をやらねばならぬかの心構え肝要なり」「情熱」「意思」「行動力」	政治改革方針、二票制、小選挙区250、比例代表250で決着へ。	代表質問。政治改革に関する責任の明治と、外交防衛などの基本政策で閣内不統一となった場合の連立解消の可能性、景気対策の為の所得税減税の是非などについて首相の見解をたず。	国連人権委員会小委員会、慰安婦問題の調査を決定。	読売930825 細川日記 読売930826 読売930825夕 読売930826夕

1993/8/26	木	参院代表質問。連立の合意について、主張すべきは主張してコンセンサスをまとめたもの、問題の棚上げではないと答弁。政府委員制度の廃止に前向きな考えも示す。 エズラ・ボーゲル教授来邸、NICに入るの、日本関係・アジア関係は自分からクリントンにつなぐ。細川の理念をよく伝えておく」と。強い期待をにじませる。その後、山本正国際交流センター理事長。上原沖開相、日米安保改正論を	政治改革案、企業献金については5年後の見直しで基本合意。	宮澤派総会。企業献金全廃に強い危機感が示される。		読売930826夕 細川日記 読売930827 読売930901
1993/8/27	金	閣僚懇談会。規制緩和は実質的な意味のあるものをやることで合意。形式的な閣議ではなく、活発な議論。 参院本会議代表質問。繰り返しが多い。 両陛下訪欧前のお茶会に出席。夜、軽井沢へ。 政治改革案の骨子について成田秘書官から報告を受ける。	政治改革法案骨子合意。並立制、二票制(小選挙区は個人名、比例は政党名)、それぞれ250議席、比例選は全国一本拘束名簿。	自民、政治改革法案の対案作成に着手。	台風11号、首都圏を直撃。首都圏豪雨で交通寸断。	細川日記。 読売930827夕 読売930828
1993/8/28	土	エリツイン大統領の来日予定、調整難航。持ち越す。 軽井沢で広告批評のビデオ撮り。			千葉県警、角川春樹氏にコカイン密輸疑惑で出頭要請。	読売930828夕 細川日記。
1993/8/29	日	午前、内田健三氏。盛田邸で昼食。松永信雄政府代表と会談。夕方、木内昭胤元駐仏大使。 政府与党首脳会議。赤松氏から政治改革の骨子について報告。政党助成金500円について議論有り。基本的な考え方は与党に任せることとし、代表者会議に一任、政府提出とする。 山花大臣の訪韓に先立ち、熊谷大臣を韓国に派遣。 WSJが所信表明の侵略行為に触れた部分に歓迎の意を示している	秋葉忠利ら、大分に村山富市を尋ね、委員長への出馬を要請。		角川社長、逮捕。	細川日記 村山回顧録 読売930829
1993/8/30	月		連立与党、予算編成や景気対策の省庁主導に不満。主導権奪取に意欲をしめす。 小沢氏、静岡での党研修会で講演。二大政党制が基本であり、連立は過渡期と強調。	政治改革案、二票制合意へ。小選挙区300、比例171。来月28、29日に党大会。	全米テニス、松岡修造が初戦突破。	細川日記 読売930830 読売930830夕 読売930901

1993/8/31	火	閣議。 官邸詰め各紙キャップとの懇談。 桑田民放連会長来邸。 内奏。1時間にわたり内政外交、 政治日程などを上層。 総務庁、規制緩和を推進するため に3つの検討会議発足の方針を 定め、概算要求に盛り込む。 水俣病関係閣僚会議、チツソに不 測の事態が起きた場合には国が 同社を直接支援する方針を決め る。 緊急経済対策閣僚会議、大店法、 タクシー料金、ガス料金、容積率 など60項目の見直しを検討する方 針をまとめる。具体策上積みのため、 関係閣僚の陣頭指揮を重ね て要請する。 一般会計概算要求、6.1%増の76 兆7421億円に。緊縮型との評価。			読売、政権陥落で自民支部が 止まっていると報じる。	細川日記 読売930831 読売930831夕 読売930901
1993/9/1	水	初の政労会見にて、山岸章連合 会長から所得税減税の要望。夜 の国連演説第一回打ち合わせに て、田中秀征補佐より安保理常任 理事国になりたがらないとの進言 を受ける。細川首相もこれに同意 するが、外務省とは反発する	細川首相の成田憲彦秘書官が、 政治改革担当の内閣審議官に 転用される	河野自民党総裁、党本部で孔魯 明駐日韓国大使と面会	経団連、規制緩和で緊急要望 書を細川首相に提出	朝日930901細川 日記
1993/9/2	木	鈴木永二行革審会長・盛田昭夫 経団連副会長から経済対策・行政 改革に関して30項目の提示を受 ける。この30項目は主に規制緩和 についてである	日本新党と新党さきがけの初め ての合同研修会が静岡県のホテ ルで始まる	自民党が小選挙区比例代表並立 制を導入したを主とした政治改革 要綱を決定	経団連、献金斡旋廃止を決める	朝日930902細川 日記
1993/9/3	金	政府税務調査会にて、従来の自 民党税調が政府税調に優越して いる構図を見直す必要ありとす る。また、この日、細川は小沢が 実権を握っている「二重構造」を否 定した。ブルブリス前ロシア国務 長官ほか表敬訪問を受ける	新生党の議員13名が訪中		過去最多タイの六個の台風が 上陸する	朝日930903 細川日記

1993/9/4	土		社会党の委員長として初めて山花委員長が韓国を訪問。北朝鮮に偏りがちだった政策に反省を表明するとともに、過去の植民地		東京で開かれていたEC(欧州共同体)との自動車協議で93年中の輸出監視枠を10%減らすことで合意した	朝日930904 細川日記
1993/9/6	月	新生党の小沢一郎代表幹事は連立与党内で、社会・公明・民社各党が景気対策の一環として所得税減税などを求めていることに関して、「個人的には賛成できない」	社会党の山花委員長が総選挙惨敗の責任を取って次期委員長選への出馬を断念。それに伴い、委員長選で村山国会対策委員長が当選	河野自民党総裁は支持率維持のため、群馬県前橋市で「ニュー自民党群馬県決起集会」を行う		朝日930906 細川日記
1993/9/7	火	政党への公費助成の総額を一旦決めた600億円を小沢・武村の会談により、減額する方向で調整に入った。内閣発足後1ヶ月の支持率は、発足時の75.7%から79.0%に		河野自民党総裁はシェール駐日ドイツ臨時代大使との会談で社会党が与党に加わったことを「ブレキなき日本」と表した	南アフリカ共和国で黒人が政治に初参加	朝日930907 細川日記
1993/9/8	水	武村官房長官は首相の今後の外国訪問にあたって、議員同行は極力減らす方針を明らかにした。政治改革関連四法案の要綱がまと	公明党委員長の石田幸四郎総務庁長官は日本外国特派員協会での講演で、所得税減税実施への積極的な姿勢を示した	自民党の野田毅党改革本部長は、渡辺派を離脱する考えを明らかにした	建設業者が自由に入札に参加できる「制限付き一般競合入札」を導入する方針を決定	朝日930908 細川日記
1993/9/9	木	報道各社のインタビューで細川首相は自身の政治スタイルについて「普通にしているつもり」と答える。経済同友会朝食会において、景気対策の必要性のほか、数値目標をつくるべしとの意見を受けた。		河野自民党総裁は細川政権に対して、「一ヶ月経っても内閣の目指す政治のイメージが鮮明にならない」との談話を発表した	イスラエルとパレスチナ解放機構は相互承認で合意し、文章に署名	朝日930909 細川日記
1993/9/10	金	細川首相は閣議後、官房長官・経済関係閣僚を呼び、規制緩和・円高差益還元など景気対策全体の取りまとめを指示した。自民党の景気対策案も規制緩和で行えるものは取り入れる方針			主要企業の製造業の業績判断を示す業績判断指数がマイナス51となり、再び悪化した	朝日930910 細川日記
1993/9/11	土	公邸に加藤寛税調会長ほか税調主要メンバーを招き意見を聞く			インドのニューデリーで爆弾テロ事件が発生	朝日930911 細川日記
1993/9/12	日		羽田副総理・外相が渡米、クリストファー国務長官と会談しパレスチナ自治支援一致		カンボジアにおけるPKO活動、修了	朝日930912 細川日記
1993/9/13	月	ブラジルのアントニオ・ウエノ下院議員・モンゴルのプレブドルジ副首相らの表敬訪問を受ける	羽田副総理・外相は「我々は『ガラス細工』の政権と言われているが、政権の重さを自覚して『強化ガラス』の政権を目指している」と発言	共産党は「小選挙区比例代表並立制」阻止を掲げ、臨時国会召集をめぐる十三日の与野党折衝でも「召集そのものに反対」と強硬な主張を繰り返した		朝日930913 細川日記

1993/9/14	火	外国報道機関のインタビュー(インタビューは在東京特派員のフィリップ・ショート氏)において、細川首相は戦争責任・英国人捕虜への保証問題などを語る	大内啓伍厚相と坂口力労相が94年の年金制度改革や高齢者雇用対策について協議	自民党は総裁選において、河野自民党総裁以外の立候補がなく、河野の再選が決まった	93年4-6月期の国民総支出GNPの実質成長率が1-3月期に比べてマイナス0.5%だったと発表した	朝日930914 細川日記
1993/9/15	水	国連演説打ち合わせ。常任理事国入りにつき、外務省と田中秀征補佐の間で依然議論は平行線。その後、緊急経済対策記者会見準備。			東京都葛飾区の出口区長が92年の選挙戦の直前、建設会社からヤミ献金を受けたとして、家宅捜査	朝日930915 細川日記
1993/9/16	木	平岩外四氏を座長とする私的諮問機関である経済改革研究会が発足する。経済政策・規制緩和や市場開放・内需拡大など内政の改革について議論する。	民主改革連合と日本新党が統一会派を結成した。この動きに社会党や新生党は蚊帳の外であった	自民党の若手・中堅で作る「新生自民党をつくる会」の六人が、派閥問題を解消するため、それぞれの所属派閥を離脱した	外務省首脳は首相周辺の国連安保理常任理事国入りへの消極姿勢を批判した	朝日930916 細川日記
1993/9/17	金	閣議で政治改革関連四法案の国会提出が決定する。この四法案は、衆院の選挙制度改革・政党への公的助成金制度の新設・政治資金の透明化・選挙違反の取締強化などが主なものである		政府の政治改革関連四法案に対抗して、自民党の政治改革案を議員提案として今国会に提出する方針を固めた	ハワイで日米建設見直し協議が開かれた	朝日930917 細川日記
1993/9/18	土	松浦晃一郎外務審議官と日米包括協議につき打ち合わせ。また、この日メジャー英首相が政府公賓として来日				朝日930918 細川日記
1993/9/19	日	訪欧よりご帰国の両陛下を妻・佳代子と羽田にお出迎え			ハワイで第一回分野別交渉が開かれ、十分野において協議さ	朝日930919 細川日記
1993/9/20	月	英国のメジャー首相と執務室で首相だけの会談を行う。メジャー首相から陛下の来秋ご訪欧の要請・英戦時保証問題・ロールスロイス・エンジンの対日売り込みにつき、日本が対米配慮から政治的取引をせざるようにとの注文を受ける	細川首相所信表明演説に対する22日の衆院本会議での与党側の代表質問は社会党に一本化することで決着がついた	自民党は党改革の焦点となっている派閥解消問題について、党内に検討委員会を設置して議論を委ね、具体的な結論は先延ばしにする方針を固めた	地価、二年連続の下落	朝日930920 細川日記

1993/9/21	火	公定歩合2.5%から1.75%へと0.75%引き下げる報告を受ける。細川首相はクック豪貿易相との会談で「四十年ぶりに政権が交代。日本のような成熟した国で、このような革命的なことが起こるのは珍しい。ペリーの黒船来航、明治維新、第二次大戦に続いて四回目の変革の時だ」と述べた	連立与党は二十一日の政務・政策合同幹事会で、整備新幹線の建設計画を見直すための検討委員会を発足させることで合意した		日本銀行は公定歩合を0.75%幅引き下げ、年1.75%にすることを決め、即日実行した。史上最低水準を更新し、初の1%代	朝日930921 細川日記
1993/9/22	水	臨時国会は衆院で代表質問が行われ、与野党の本格論戦が始まった。攻める自民党が責任野党を強調し、連立与党内の不一致をつく作戦を取っている。それに対して、受けて立つ政府と与党側にとっては、外交・防衛問題などの基本政策をめぐる各党のズレが泣き所になっている	新生党の小沢一郎代表幹事は今日から公式訪問ではなく、個人の資格で訪欧を開始した		西アフリカのリベリアの停戦を監視するため、PKOとして約500人の停戦監視団を派遣することを決定した	朝日930922 細川日記
1993/9/23	木	細川首相は皇居の秋季皇霊祭・神殿祭に参列			国際オリンピック委員会は2000年夏期五輪の開催都市をシドニーに決定した	朝日930923 細川日記
1993/9/24	金	山花貞夫政治改革担当相(社会党委員長)は参院本会議での各党代表質問で、国連平和維持活動(PKO)への協力について「非軍事、文民、民生の原則に基づいて自衛隊とは別組織で行う、という社会党の見解は変更がない」と述べた。また、太平洋戦争について「侵略戦争だったことは否定でき	山花貞夫政治改革担当相は森山真弓前文相(自民党)への答弁で「腐敗した自民党」と発言したことに関して、陳謝した		クリントン大統領は南アフリカ共和国に対する金融制裁を解除する方針を表明した	朝日930924細川日記
1993/9/25	土	細川首相、渡米			G7、日本に所得税減税を期待	朝日930925細川日記
1993/9/26	日				茨城県の知事選で、自民・新生・日本新党・さきがけの四党が推薦した橋本前自治省課長	朝日930926細川日記
1993/9/27	月	細川首相は国連総会での演説で、国連改革を願うとともに、パレスチナに2年間で2億ドルの支援を行う旨を述べる。これを世界首脳は日本の素早い対応と高く評価し	新生党・渡辺恒三政務幹事は都内の講演で「創価学会に支配される政党などあっていいはずがない」と述べ、新生党や小沢一郎代表幹事と創価学会の関係につ		宮城県知事逮捕	朝日930927 細川日記

1993/9/28	火	細川首相、帰国	公明党の市川雄一書記長は都内の講演で、自民党渡辺派の渡辺美智雄会長の「公明党を支配しているのは創価学会だ」という発言に対して、「靖国神社の公式参拝は、ある意味では一番、政教分離で問題の残るところだ」と	政治改革について理解を深めようという自民党の「民主政治研究会」(代表:島村宜伸)が初会合を開いた		朝日930928 細川日記
1993/9/29	水	細川首相は京谷農水次官より作況指数と冷害対策8項目、年内加工用米20万トン輸入の報告を受ける	羽田副総理・外相はロシアとの北方領土問題に対して、じっくり信頼関係を構築してから解決を目指す方針を表明した	自民党本部で行われた臨時党大会において、先の戦争で我が国が近隣諸国へ行った行為を河野自民党総裁は「侵略行為」としたのに対して、橋本龍太郎政調会長は「そう思わない」と過去の問題をめぐる意見の相違を印象付けた		朝日930929 細川日記
1993/9/30	木	冷害対策関係閣僚懇談会にてコメ緊急対策を決定。政策幹事会を開き、自衛隊法改正案の政府提出問題について協議した。しかし、社会党が政府提出に反対する考えを崩さなかったため、四日の連立与党代表者会議で改めて対応	社会、新生、公明、さきがけ日本新党、民社の連立与党五会派の当選一、二回の代議士有志が三十日、政策勉強会「いしづえ会」を結成し、武村正義官房長官を交えて都内のホテルで初会合を開いた		インドでマグニチュード6.4の地震があり、負傷者と死者がそれぞれ一万人に達した。コメが戦後最悪の不作となり、加工原料米の緊急輸入・減反目標面積の緩和・冷害地域や被災農家に対する総合的な支援策を決め	朝日930930 細川日記
1993/10/1	金	農水省は今年から来年にかけてのコメ不足に対応する緊急輸入について、海外の安いコメを輸入することで生じる差益を食糧管理特別会計の赤字削減に充てる方針を示す。	社会右派を中心に社民勢力や保守リベラルを巻き込み、自民党、新生・公明党に次ぐ第三の政治勢力を11月中旬をめどに結成しようという構想が浮上。一方、六党の当選一、二回の若手議員約20人が政策勉強会を発足。	自民は4日からの衆院予算委員会の質疑時間を18時間45分確保(22時間中)、対する与党は1時間半。 自民は党本部で、政務調査会の正副会長・部会長会議を開き、10942件にもおよぶ政府の公的規	日ロ両国政府は、ロシアにおける核兵器解体支援のため委員会を設置することで合意した。国際原子力機構総会は、北朝鮮に検査察の早期本格再開を求めた決議案を賛成72、反対2、棄権11で採択した。	読売931001夕 読売931002
1993/10/2	土	石田幸四郎総務庁長官は、URで焦点になっているコメ市場開放問題について「政府、与党で協議しなくてはならない局面が生じるかもしれないと予測している」と述べ、市場開放に含みを残した。		自民党の河野総裁は遊説先の金沢市内で「新党という名前には主義、主張がない」と批判し、新党批判のボルテージを上げた。	日教組、政府の小選挙区比例代表並立制の導入に反対しないことを表明。 伊勢神宮の式年遷宮の「遷御の儀」が内宮で厳かに行われた。	読売931003
1993/10/3	日	首相、福島県の米作冷害状況視察。コメの緊急輸入方針について「今回はあくまでも緊急、特別的措置。コメの自由化につながるという話ではない」と述べ、コメ市場開放とは関連付けない考えを改めて示した。 政府、PKOの自衛隊派遣一年間			ロシア、デモ隊と警官衝突、モスクワに非常事態宣言。	読売931004

1993/10/4	月	ロシアのエリツィン大統領の措置、改革路線を支持することを表明。第三次行革答案から地方分権のための立法化が削除されていることが明らかに。	連立与党代表者会議で自衛隊法改正案に社会党が反対、国会提出困難に。世論調査、与党間の乱れ、6割の人が問題視せず。	衆院予算委員会の質疑開始。野党質問に不慣れな自民が論点を拡散し攻めあぐねる。与党の大出社会党副院長(止め男)を始め不慣れ感。	エリツィン露大統領が大統領代行や最高議会議長のこもる最高会議ビルに攻撃し、攻撃、政治危機に決着。大成建設副社長贈賄容疑で逮捕。並立制52%が支持、政党助成	読売931004 読売931005
1993/10/5	火	行革審の最終答申明らかに。その柱は「中央省庁の再編」「規制緩和」「地方分権の推進」の三つ。日ロ共同宣言の原案が固まる。北方四島を明記。	政治改革法案の今月中の衆院通過を目指す方針を決定。	自民、政治改革5法案を総務会決定。小選挙区300、比例171、一票制など。公民権停止の対象拡大、連座制強化などの腐敗防止関係部分を別建てにしたため五法案となるが、党議決定済みの「要綱」と	大阪の無人運行電車暴走。中国が地下核実験。	読売931005夕 読売931006 263日
1993/10/6	水	食糧庁がコメの価格高騰防止のため監視強化を決定。ロシアとの事前折衝で朝鮮半島の核拡散懸念表明の合意文書調印することを決定。首相、日本新党議員と懇談。行革審の最終答申について「地方分権の推進」および、「特殊法人の改革」について審議。その結果、「地方分権推進に関する基本的な法律の制定を目指すべきだ」との提言が最終答申に盛り込まれ		予算委最終日、山花政治改革担当相らの「自衛隊違憲発言」をめぐる政府統一見解に焦点。	クリントン政権は、ソマリアに新たに約二千人の兵力、装甲車両五十両以上などを増派する意向を固めた。	読売931007 読売931007夕
1993/10/7	木	政府はロシアの核廃棄物海洋投棄問題に対し、日ロ共同調査の実施を議題とすることを決めた。首相は参院予算委で国連安保理の常任理事国入りについて、国連改革の実現を前提条件とはしないと表明。	山花氏は閣僚として自衛隊に対し「首相の答弁を尊重して対応したい」と事実上の「合憲」発言。社会党内で派閥解消論が急浮上。村山委員長の支持母体が久保書記長支持グループに派閥解消の申し入れ。しかし、右派は申し入れを拒否した。	参院予算委に舞台を移す。コメ、減税の論戦は衆院予算委に続き低調なまま。	22都道府県が天下り紹介、自治体と建設業界の癒着発覚。連合の定期大会が開会。	読売931008
1993/10/8	金	食糧庁がコメ供給計画の全容を示す。供給抑制、古米の使用、自主流通米を混入など。	連立与党、政治改革法案の年内成立に強い危機感。参院予算委の審議遅れが壁。	自民内で発足している派閥横断グループが並立制をめぐり賛否二極化。自民党はエリツィン大統領のリア日にあわせ、武力制圧や流血事件となったことに遺憾の意を示す		読売931009

1993/10/9	土	平岩研究会中間報告の方向固まる。 市場参入規制などは、生活者重視、と「国際的調和」の観点から根本的に見直し、安全性の確保などは自己責任原則を確立する中で	小沢コメ関税化に積極的。		米がソマリアに停戦提案	読売931010
1993/10/10	日			自民党は党支持基盤の拡大と財政補強のため、現在の党員制度に加えて党費が今の半額の「協力党員」制度を新設する方針を固め	ゼネコン汚職に絡み、税務調査 韓国の沖合でフェリー沈没	読売931011
1993/10/11	月			自民、河野総裁名でエリツイン大統領来日にあたり、先の武力制圧に遺憾の声明を発表	露エリツイン大統領来日、領土問題牽制、シベリア抑留問題謝罪。	読売931012夕
1993/10/12	火	首相と露大統領の第一回日ロ首脳会談。 北方領土問題について、1956年の日ソ共同宣言は有効であるということを認める。	代表者会議で政府委員制度の廃止などを盛り込んだ国会法改正案を今国会に議員立法で提出することを決定。	自民への広告掲載料、電力・ガス業界が中止		読売931013
1993/10/13	水	第二回日ロ首脳会談、「東京宣言」署名。北方領土の交渉対象として四島名明記。	社会党の久保書記長支持グループ「細川連立政権を支え、政治改革を実現する会」は幹部会で同会を解散し、新選挙制度導入に伴う政界再編に向けて今月末をめどに、同会のメンバーを中心に、社民・リベラル勢力を結集した超党派集団を結成する方針を決定。	衆院本会議で政府と自民党の政治改革関連法の趣旨説明、質疑。政府、与党、自民ともに今国会での成立を目指す。 自民党はテレビ朝日の報道局長が先の総選挙で、非自民よりの報道を指示していたとされることについて、国会での証人喚問も含め、強い姿勢で真相究明に乗り出す	エリツイン大統領離日。 テレ朝総選挙報道、局長の「55年体制崩す方向で報道」発言をめぐり、公正報道に疑念	読売931013夕 読売931014 平野20年
1993/10/14	木	首相、衆院本会議で政治改革法案の年内一括成立強調。 政府税調、消費税の仕組みの抜本見直しの骨格を決めた。日本型インボイス(伝票)方式へ。	小沢の政府委員廃止に政務次官会議で異論。各省庁も批判的態度。多数決での法案採決を示唆。	政治改革関連法を巡る国会論戦は衆院本会議で政府案、自民案両案に対する各党の代表質疑。	PL制度導入の原案が明らか	読売931015 263日
1993/10/15	金	コメ市場開放問題でURで求められている「例外なき関税化」の原則を、条件付きで受け入れる方針を固め、米国に打診を始めた。 政府税調ヒアリング、理解を示す意見が多数。 首相、衆院政治改革特別委与党理事と意見交換、11月5日に政府案を衆院通過させる方針を了承。	政界再編に向けて社会党内の派閥再編が本格化。	自民の森幹事長は「日程を設定し、その通りにならなければ与党だけでも採決する」と言う考え方は言語道断だと早速強く反発する。		読売931016 263日

1993/10/16	土	政府税調と連立与党で消費税引き上げに対して意見の食い違い。	小沢は政府がコメの「例外なき関税化」を受け入れることに対し、連立与党の合意と矛盾しないとの考えを示す。		指導要領変更に伴い併せ、公立高校入試に推薦拡大。	読売931017
1993/10/17	日	ロシアへ放射性廃棄物投棄の即時停止要求。	「国対政治からの脱却」を謳い、国対委員会制度の廃止を打ち出した影響で、日程調整などがもたつき、国対に変わる機関の設置を望む声もある。		グリーンピースによるとロシアが日本海上で液体放射性廃棄物の海洋投棄を開始。	読売931018
1993/10/18	月			衆院政治改革特別委員会が政府提出の政治改革関連四法案に関する総括質疑。「3%阻止条項」に関し、首相は合憲の意。	読売の試算では並立制になった場合、政府案、自民案、折衝案それぞれの案で、連立与党が一体化すれば有利、しなければ自民優利となることを試算。ロシア再投棄。	読売931019
1993/10/19	火	政府はロシアの核廃棄物海洋投棄に再抗議するとともに、独自調査を実施。「経済改革研究会」は中間報告に規制数を5年で半減などを提案。	社会党、AWACS・パトリオットの購入に反対する方針を固めた。	衆院政治改革特別委で自民提出案(政治改革関連五法案)に対する総括質疑。自民は法案修正にも前向き。		読売931020夕 読売931020
1993/10/20	水	行革審、審議終了。	テレビ朝日前局長証人喚問、政治改革審議日程の遅れを懸念し、早期喚問。	政治改革特別委員会は理事会で来月2日まで一般総質疑や参考人招致を終えることを決定。自民、地方重視強調。	東京地検「鹿島」建設を贈賄疑惑で聴取開始。日本向けのタイ米の船積み開始。	読売931021
1993/10/21	木	首相、ガットのピーター事務局長にコメ関税化困難な旨伝える。	社会党は中央執行委員会でAWACSとパトリオットミサイルの導入に反対することを決め、予算削除要望を提出。		鹿島、下請けによる裏金調達システムが発覚。	読売931022
1993/10/22	金	政府税調、答申で税率は5-7%への引き上げ示唆。首相、「政府規制緩和推進委員会」の設置の意向を固める。首相、週明けから自民と折衝する方針決定。		政治改革法案に対し、河野総裁は自民案の成立を目指しつつ、成立しないなら政府案に要望をどれだけ盛り込めるかが重要となると。		読売931023
1993/10/23	土	武村官房長官が政治改革法案に対し、政府、自民の譲歩が必要と修正を強調。	政治改革関連四法案の成立のため、自民に歩み寄る形で政府案の一部修正するための折衝をする方向性を固めた。		東京地検、鹿島副社長を聴取。	読売931024
1993/10/24	日	連立与党が国会提出しようとしている政府委員制度の廃止に対し、政府部内に反対論。			鹿島副社長、政界へ裏金8000万	読売931025

1993/10/25	月	政治改革法案について政府与党首脳会議で与党各党から調整がつかないうちに新聞で報道されるのは遺憾との苦情。		政治改革調査特別委員会で榑テレ朝前局長の証人喚問。自民はテレビ朝日前局長の放送法違反疑惑について政治改革特別委員会ではなく、通信委に主戦場を移すことで審議引き延ばしのイメージを貼られないようにする。	ゼネコン汚職を契機に、建設省の入札・契約制度の抜本的見直し	読売931026
1993/10/26	火		記入代表者会議を開き、11月5、6日の両日に公聴会を開くことを支持。	本社調査で選挙制度改革修正容認、与野党4割超す。しかし、妥協点については与野党でずれが目立つ。衆院で政治改革法案を強行採決されたら参院は審議拒否をするこ	大学入試センター試験志願者52万前後に上るとされ、過去最多の見通し。	読売931027
1993/10/27	水	第3次行革審は最終答申をまとめ、細川首相に提出。規制緩和アクションプランの来年度中の策定や地方分権に関する基本法の制定を求める。平岩研究会も報告案が明らかに。独禁法除外の廃止など		政治改革法案の公聴会日程をめぐる与野党折衝は27日ももの別れに終わる。与野党折衝の窓口がはっきりしないなどの事情も。政府・与党は11月12日までに衆院通過が必要との見解。	経団連の三好事務総長は自民党の分裂と連立政権誕生による55年体制崩壊を「一言でいえば歓迎だ」と評価し、「経団連は自民党と一緒に動く団体ではない」と自民との決別宣言と取れる発言を行う。	読売931028
1993/10/28	木	平岩研究会報告案の具体案が明らかに。	コメ輸入自由化をめぐり、小沢の反対や、社会党と新生党との亀裂により、国会決議が28、29日に議決される方向にありながらも見送られた。社会党は並立制導入に向けて、党組織の改革と選挙対策方針の素案を中央執行委員会で決定。	公聴会、11月8～11日と決まり、12日の衆院通過は困難に。会期延長の可能性も出てくる。与党側と自民党で修正問題をめぐる折衝が始まる見通し、自民党から細川・河野のトップ会談を求める声も出る。	細川内閣支持、73.4%歴代最高記録(23,24日に調査) 鹿島、2幹部逮捕。	読売931028 読売931029
1993/10/29	金	政府・与党は政治改革関連法案の年内成立のため、政府案を一部修正し、来月5日ごろ自民党に提出する方針を決定。議席配分、比例代表の範囲などが焦点。政府税調は消費税見直しの中期答申で免税点、簡易課税、限界控除を絞り込むことを決定。	自衛隊法改正問題が決着に向かう。その背景として政治改革関連法案審議に先立ち与党間の結束を乱さないようにする「政治判断」がある。	理事会で中央公聴会を11月8、9両日開くことを決定。法案の12月15日までの成立は困難に。		読売931030 263日

1993/10/30	土	平岩研究会とりまとめめぐって同研究会と霞が関との間での攻防が本格化。首相、政治改革法案の修正に柔軟に対応していく方針を確認。	来年の年金制度改正に向け、連立与党間での統一案作りが本格化。	参院の選挙制度改革にどう取り組むべきかという議論が参院内で高まる。	細川政発足後国民の政治に対する関心が急速に高まり、「政治に関心」7割超す。(23、24日調査) 文科省が老人介護の実習を国立大学医学部のカリキュラムに取り込むよう要請。	読売931031
1993/10/31	日	首相は小沢、山花、武村と相次いで会談し、修正交渉を自民党と始めることを求める。また、18日までに衆院を通過させることを強調。首相は親閲式の訓示で『防衛計画の大綱』の見直しを表明。軍縮のリーダーシップを日本がとることを指摘。	与党内での修正案具体化に進む。社会党の立場を配慮。	政治改革法案の最終局面でのトップ会談での決着に意欲。		読売931101 263日
1993/11/1	月	・武村官房長官、「強行採決をやらない旨を公表すべきでは」と主張したが、細川は「野党に利することになる」ため一切を伏すように指示 ・コメ自由化反対のための4回目の国会決議が見送り。	<ul style="list-style-type: none"> ・土井衆院議長と電話。政治改革法案で強行採決はやらない旨伝える ・与党代表者会議(小沢、市川、久保、米沢、園田)で検討。市川を代表として、園田・米沢の3人で自民党折衝にあたること決定 ・与党代表者会議後、市川は森喜朗自民党幹事長を訪問。森、修正に応じる考えを示す ・村山社会党委員長、広島市内で会見。自民党との交渉を市川に一任したわけではないと協調。定数配分について与野党案を足して二で割るような方法はとらないと強調 ・日本新党とさきがけ、宮城県知事選に浅野史郎氏を推薦することを決定 ・小沢太郎、記者会見で、産経・日経の記者会見出席を拒否している件で、関係の正常化を受け入れた。 			細川日記 成田回顧録 読売新聞931031

1993/11/2	火	<ul style="list-style-type: none"> 市川ら3人の代表と森喜朗幹事長ら自民党側との間で、政治改革関連法案の修正協議が始まる 	<ul style="list-style-type: none"> 連立与党の政策幹事会、11月16日の政府税制調査会の中期答申に向けて、集中討議。現行制度の欠陥を是正しない限り、税率引き上げは困難との意見 社会党の政治改革推進派若手議員が「政治改革実現のための研究会」を結成。初会合の勉強会を開催。 市川と森が与野党修正協議。森は、5日から修正に向けての段取り、日程の協議に入ると表明 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党・古里貞利国対委員長、自衛隊法改正法案について「あくまで自民党が議員提出した法案成立を目指す」と話す。 参議院議員運営委員会(大森昭委員長)、自民党提出のコメ自由化反対決議について理事会で協議し、衆院と同様、見送ることを決定 		日本政党史録5 読売新聞931103
1993/11/3	水	<ul style="list-style-type: none"> 皇居で文化勲章伝達式 		<ul style="list-style-type: none"> 野田毅(自民党)党政治改革本部選挙制度座長、熊本の県連女性部研修会で講演。総定数500とした場合、300・200が譲れるギリギリの線だと協調。社会党以外は、自民党案を呑めるはずだという見方を示した。 	<ul style="list-style-type: none"> 読売新聞社の世論調査。コメの市場開放について、容認派が6割を超えたと発表 	細川日記 読売新聞931103 読売新聞931104
1993/11/4	木	<ul style="list-style-type: none"> クリントン大統領から手紙。「所得減税が、消費税引き上げによって相殺されないよう希望する」という内容 		<ul style="list-style-type: none"> 山岡賢次(自民・衆)、自民党から離党。 	<ul style="list-style-type: none"> 農水省、長雨低温による農作物被害1兆2122億円と発表(過去最大) 佐藤清三郎慶大教授、評論家の依孝太郎、西部邁両氏ら学者・文化人23人が小選挙区比例代表並立制導入について慎重審議をするよう緊急提言を発表 	自民党農政史 細川日記 読売新聞931105
1993/11/5	金	<ul style="list-style-type: none"> 対細川への総括的一般質疑で、細川「必要があれば喜んでトップ会談をする」と表明 文化勲章、功労賞親授式 園田から電話。麻生太郎から「河野がトップ会談をやらざるを得ずと思料している」旨、伝言。後藤田も河野にトップ会談をやるよう圧力をかけている模様。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民を離党した山岡賢次が新生党・改革連合に入ること決まる 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党林政基本問題小委員長に中谷元が就任 田中角栄元首相が慶應大学病院に入院 		自民党農政史 成田回顧録 読売新聞931106

1993/11/6	土	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相、韓国・慶州を訪問。植民地支配を陳謝 ・石原信雄、この日で官房副長官就任満6年を迎える 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡部恒三(新生党代表幹事代行)、熊谷市での講演で、政治改革関連法案は今国会で成立すると述べる ・米沢(民社党書記長)、石川県連パーティーで、自民党との修正協議が不調だった場合、強行採決に踏み切る可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・武村、森自民党幹事長を訪問 		<ul style="list-style-type: none"> 細川日記 読売新聞931107
1993/11/7	日	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国後、政治改革法案について打合せ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・クリントン大統領、北朝鮮の核開発は絶対に許さないとインタビューで強調 	<ul style="list-style-type: none"> 細川日記 読売新聞931108
1993/11/8	月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、経済改革研究会(平岩研究会)が経済的規制の原則廃止について中間報告 ・昼、政府与党首脳会議。市川から自民との修正協議の経過について詳細な報告 ・夜、小沢「12日に締めくり総括質疑をセットし、与野党協議不調になったら15日にトップ会談実施」という筋書きを細川に提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方、政治改革国民集会(in ホテルニューオータニ)にて、河野総裁とのトップ会談を提案。河野「機が熟し条件が整えば」とかわす。 ・政治改革関連法案について与野党修正協議が始まる。自民党側は21項目の修正項目を提案。市川が論破。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間政治臨調、与野党国会議員150名とともに、2500名の参加者を集めて「政治改革の実現を求める緊急国民集会」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米務省ナンバー2のクリフ・ウォートンが辞任。議会で米外交の威信低下が問題視されたことを受けて。 	<ul style="list-style-type: none"> 細川日記 田中さきがけ P.145 成田回顧録 読売新聞931109
1993/11/9	火		<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院政治改革特別委員会理事会で、自民党の抵抗に左近(社会党)理事が同調し、12日の締めくり総括質疑をセットできず(いわゆる左近の造反) ・村山(社会党委員長)、国会で記者会見し、比例選の集計単位について、ブロック制もありだと修正に前向きな姿勢を示す 	<ul style="list-style-type: none"> ・武村、小淵恵三を訪問 		<ul style="list-style-type: none"> 成田回顧録 読売新聞931110

1993/11/10	水	<ul style="list-style-type: none"> ・午前。対自民交渉窓口(市川、園田、米沢)から報告。自民はトップ会談について申し入れがなかったことにしてほしいとのこと。政治改革法案の骨格については、トップ会談で一発回答のほかなしと一致 ・15時10分。細川-村山会談。村山「小選挙区定数について270はダメ。280は絶対ダメ。遅くとも15日の委員会で採択する。16日の本会議は保証する」 ・夕方。成田(首席秘書官)が「小選挙区274、比例226」とする成田案を提示 ・夜。細川と市川で法案修正内容について意見を交わす。小沢も参加予定だったがマスコミの監視が厳しく入邸できず不参加 			<ul style="list-style-type: none"> ・JAグループ、「コメ関税化拒否・市場開放阻止国民総決起大会」を開催(河野総裁、村山富市委員長挨拶) 	<p>細川日記 成田回顧録</p>
------------	---	--	--	--	--	-----------------------

<p>1993/11/11 木</p>	<p>・羽田副総理、山花政治改革担当大臣が、週末に政治改革を訴える街頭演説を行うことを検討していると発表</p>	<p>・社会党「政治改革を推進する社会党有志の会」が村山委員長を訪ね、大胆な妥協をするよう求めた ・日本新党、都内の二か所で法案の年内成立を訴える政治改革実現緊急街頭演説キャンペーンをスタート ・村山委員長、社会党中央執行委員懇談会で、政治改革関連法案について定数配分を含め骨格の修正をしないと社会党の責任になるという考えを示した。 ・社会党、総選挙敗北で議員減により、3億円減収。連立のため総評から借り入れることもできず。</p> <p>・18時30分、細川、市川、石井、武村、園田、米沢らで与野党修正協議と委員会運営について協議。 ・結論として、12日12時の理事会では委員長職権は発動しない。15時からの与野党修正協議の後、理事会を開く。自民党理事が来なくても必ず理事会は開くから、12時の理事会では職権で締総のセットは行わない、と決まる。</p>	<p>・朝、武村と橋本龍太郎が会談。</p> <p>・石井と自民党某議員が会談。某氏「武村・橋龍会談で自民党内騒然。河野総裁は15、16日は政治改革ではなく景気対策とAPECで挨拶にいく」。石井「19日までにあげないと困る」。某氏「19日までにはあげる。12日に与野党修正協議でトップ会談を提案されても、河野総裁は対応できない」</p> <p>・野田毅(自民党)特別委員会理事は、「与野党修正協議が進んでいるのに締総はセットできない。修正協議が終わったら締総をセットすべき」。石井「15日の委員会と理事会をセットだけしておいて条件だけ整ったらやるのはどうか」。野田「12日15時を過ぎてからにしてくれ」</p>	<p>・食糧庁、コメ90万トン緊急輸入を発表</p>	<p>細川日記 自民党農政史 成田回顧録 読売新聞931112</p>
---------------------	--	---	---	----------------------------	--

1993/11/12	金	<ul style="list-style-type: none"> ・後藤田から細川に電話。後藤田「荒っぽいやり方はよくない、APEC前に衆院を通すよう河野、橋本に言ったので対応してくれ」と話す ・夜、田中秀征首相補佐官、立教大学の斎藤精一郎に相談に行く ・閣議で消費者米価据え置き、消費者麦価10.4%値上げ決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前、官邸にて細川と代表者会議メンバー(小沢、久保、市川、園田、米沢、石井)集まる。小沢「12日の与野党修正協議の後の理事会で締総をセットする、という結論に反対。12日の与野党協議では、与党側から具体的な数字を出す必要があるが、社会党は出せるか」。久保「出せない。村山委員長と相談させてほしい」。11時30分に再び代表者会議を開催すると決定。 ・代表者会議後、武村が執務室に入室。「みんなは全体の構造がわかっていない」と憤慨。 ・11時30分、代表者会議。社会党「15時の与野党修正協議で具体的な数字を出されたら困る」。12時に特別委員会理事会で、委員長職権で締総セットをすることに決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼。衆院本会議直前、石井が委員長職権で15日の締めくり総括質疑を宣言。 ・15時、与野党修正協議で自民党、職権で締総をセットしたことに猛反発。市川は「自民党が招いたこと」と反論 		細川日記 自民党農政史
1993/11/13	土	<ul style="list-style-type: none"> ・午前。細川、園田博之(さきがけ)と与野党協議の進め方について会談。小沢、市川に対する与党内の反発をふまえ、小選挙区・比例代表の数と企業献金は6者協議ではなく、トップ会談扱いにしないと社会党がもたないとの結論に至る。 ・細川－村山会談。村山「13日の社会党衆参両院議員懇談会と14日の都道府県代表者会議の結果を踏まえて、総理に修正を一任する」と伝える ・夜、成田(首席補佐官)と274:226案を検討。 				細川日記

1993/11/14	日	<ul style="list-style-type: none"> ・18時、細川－村山会談。村山委員長、トップ会談について、総理に一任すると報告。村山「275になるのは覚悟しているが、最初に270を出してほしい」と頭を二度下げる。この時同席していた成田と村山が二人っきりになったとき、村山は「オイ、275を飛び越えたら大変なことになるからな」と発言。すでに274が決まっていたため成田は「総理は十分お考えになっている」と発言。 	<ul style="list-style-type: none"> ・14時、社会党全国代表者会議。その後、三役会議にて、政治改革法案について村山委員長に一任される。 ・鹿児島県の社会党員による「小選挙区比例代表並立制に反対する県民連合」が並立制導入に反対決議 ・社会党島根県本部(左派)も並立制導入への反対決議を党本部に提出 ・18時、与党代表者会議。トップ会談について細川に一任される 	<ul style="list-style-type: none"> ・小淵恵三がモルジブからの帰国報告を兼ねて、政治改革法案の様子伺いに官邸訪問。 ・夜、鹿野道彦(自民改革派)が細川に電話で、北川正恭らと新党結成して動き始めたと報告。 		<p>細川日記 成田回顧録 読売新聞931115</p>
1993/11/15	月	<ul style="list-style-type: none"> ・19時20分、市川が修正協議の状況について、細川に報告。「今日の委員会を開かない条件付で、トップ会談開催を受け入れると自民が言っている」。石原信雄の助言に従い、条件付きでトップ会談をやることに決定 ・細川と河野(自民総裁)トップ会談。定数274、比例代表226、政党助成金は国民一人当たり250円、総額309億円に修正する案を提示。自民党は拒否 ・細川は、委員会で採決する方向性で腹をさめる ・深夜から16日未明にかけて、定例の政府与党首脳会議。トップ会談の内容報告(河野に提案した小選挙区274、比例226と政党助成金250円の修正案について与党代表者に承認してもらうことが目的) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党島根県本部が連立政権に批判的な左派と連立政権支持の右派に分裂し、「新しい社会党をつくる会」の結成を決めた右派が初会合。 ・特別委員会理事会。自民党理事は来ず。「勝手に職権でセットした委員会は流会にしろ」と主張。 ・与党側理事から、「16時から修正協議、18時からトップ会談、20時までは委員会は開かない」と提案し、自民受け入れる。 ・16時から22時まで与野党修正協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・河野、自民党内から一任されないままトップ会談に臨む。自民党内で、定数や比例の単位、方法についてまとまっていなかった 		<p>細川日記 成田回顧録 読売新聞931116</p>

1993/11/16	火	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方、州銀政治改革特別委員会において政治改革関連4法案可決 		<ul style="list-style-type: none"> ・河野、森が衆議院内の総理大臣室を訪問。地方議員の救済のため、寄付金の所得控除拡大を与野党継続協議の項目に追加してほしいと申し入れ 		細川日記
1993/11/17	水	<ul style="list-style-type: none"> ・熊野英昭通産次官、細川にAPECについてレク ・大蔵省・斎藤次郎次官、篠沢恭介主計局長、小川堤主税局長が、細川に補正予算と税調などの日程について説明 ・外務省・福田博審議官(政務)、松浦晃一郎審議官(経済)、大蔵省・加藤隆俊国際金融局長、通産省・坂本吉弘通商政策局長らと日米首脳会談など訪米関連の打ち合わせ ・外務省・松浦審議官、佐藤行夫北米局長、小倉和夫経済局長が訪邸 		<ul style="list-style-type: none"> ・原田義昭(自民党、総選挙で落選)が自民党を離党すると発表 ・新井将敬、太田誠一(自民若手議員)が官邸を訪問 		細川日記 読売新聞931118
1993/11/18	木	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院本会議で政治改革法案が可決。自民党から西岡武夫ら13人賛成、社会党から岩垂寿喜男ら5人が反対。 ・細川、京谷昭夫農水次官、上野博史農水官房長とコメ問題で会談 ・21時過ぎ、細川・小沢会談。URは反発やむなしだがやる、税制は政治改革が片付くまで先送り、予算編成も越年と決める。社会党から40人程度脱藩する可能性について話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・上田哲(社会党)、社会党を離党し、護憲派による新党をつくと発表。 			細川日記 読売新聞931119

1993/11/19	金	<ul style="list-style-type: none"> ・朝。政府与党首脳会談。 ・午後、加藤寛から税調答申受了。減税規模、税率引き上げ幅、実施時期は来年度に検討すると決める。 ・URについて日経が的を射たスクープを出したが、知らぬ存ぜぬで、従来通りの説明で押し通すと石原信雄、秘書官と決定する 		<ul style="list-style-type: none"> ・自民党渡辺派、政治改革関連法案に賛成した同派7人に対して処分する方針を固めた ・自民党、政府税制調査会の答申の消費税引き上げには反対の姿勢を表明 ・山本富雄(自民党)総合農政調査会長と保利耕輔農林水産物貿易対策委員長ら、首相官邸で細川に対し、国会決議を尊重するよう申し入れ。細川「従来方針通りで臨む」と回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ朝日世論調査。支持率69%から76%へ。 	細川日記 読売新聞931120
1993/11/20	土	<ul style="list-style-type: none"> ・細川、シアトルでAPEC首脳会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党、「護憲の社会党を再生する全国ネットワーク」の結成総会。 			細川日記 読売新聞931121
1993/11/21	日	<ul style="list-style-type: none"> ・皇居で帰国の記帳 				細川日記
1993/11/22	月	<ul style="list-style-type: none"> ・昼、与党首脳会談。日米首脳会談 				細川日記
1993/11/23	火	<ul style="list-style-type: none"> ・武村、田中、斎藤次郎、熊野英昭と税制改革の進め方について協議。税制改革の必要と進め方について意思統一を図ることを目的としたもの。 				細川日記
1993/11/24	水		<ul style="list-style-type: none"> ・社会党の野坂浩賢・辻一彦が、細川にコメ開放についてケンカ腰で申し入れ 			細川日記
1993/11/25	木	<ul style="list-style-type: none"> ・夜。武村、斎藤邦彦(外務次官)、小倉(外務経済局長)、上野(農水官房長)とコメについて内々の相談。羽田・武村で与党幹部に状況説明することに決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・連立与党党首昼食会。政治改革法案の参議院審議について協議。 			細川日記

1993/11/26	金	<ul style="list-style-type: none"> ・参議院本会議で、政治改革関連法案修正政府案趣旨説明 ・国会内大臣室で公害対策会議(水俣病問題についてと考えられる) ・細川、武村、鳩山、石原、成田が今後の日程、段取りを協議。税は先送り。コメは予算審議と絡まるため避けられない。短期政権を覚悟。 				細川日記
1993/11/27	土	<ul style="list-style-type: none"> ・細川、公邸にて終日書類の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生党久留米支部発足。新生党が市町村単位で支部を発足させるのは、福岡県では初めて。 ・石田(公明党委員長)、公明党全国県本部長会で挨拶。自民党が理不尽な要求によって審議を引き延ばすことは政治改革つぶしと言われてもやむを得ないと発言。政府与党一体となって年内成立を目指すと言。消費税増税については国民の理解が得られないと難色を示す。 ・公明党 UR交渉でコメの部 			細川日記 読売新聞931128
1993/11/28	日	<ul style="list-style-type: none"> ・細川、小沢、市川、成田と今後の政治日程について協議。行革と不公平税制について議論。政治改革法案については12月13日の週から12月29日まで延長するよう議論を持ち出すと決定。 ・越年した場合の政治責任のとり方の望ましい形について総辞職か解散か、成田に検討するよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公明党がコメの関税化猶予を評価する方針を発表したという記事がでる(11月26日に打ち合わせした通り。狙いは社会党のけん制) ・社会党島根県本部の右派が、新しい社会党をつくる会を結成 			細川日記 読売新聞931129

1993/11/29	月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、サッチャーと会談。 ・細川、山岡賢次から参院自民党内について説明をうける。 ・政府与党首脳会議。久保社会党書記長から参院政治改革推進本部について報告。細川、コメには触れず(細川はドウニ議長から内々に骨子の連絡があった段階で国内調整を開始する腹づもり) ・細川、武村、田中、藤井大蔵大臣、熊谷通産大臣と予算編成について越年にするか否か、URと絡めて協議。 ・細川、斎藤邦彦(外務次官)から北朝鮮軍事動向、核問題などについて定例のブリーフをうける。 			<ul style="list-style-type: none"> ・UR農業交渉、ドウニー議長調整案(コメ部分開放)発表 	細川日記 自民党農政史
1993/11/30	火	<ul style="list-style-type: none"> ・衆院、参院本会議で財政演説。 		<ul style="list-style-type: none"> ・森(自民党幹事長)、政府の第二次補正予算案への対応について、自民党独自で補正予算案を作成し、政府に組み替えを求める方針を表明 ・自民党・政治改革推進議員連盟が幹部会を開催。造反議員の処分について、処分に再考の余地はないと発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業を守る行動議連、松岡利勝らが国会議事堂中庭玄関前で断食座り込み 	自民党農政史 読売新聞931201
1993/12/1	水		<ul style="list-style-type: none"> ○村山委員長周辺は、「(村山委員長も)最後は連立優先で判断することになるだろう」との見方を示す。 ○社会党久保書記長はコメ開放を連立維持の立場から容認する姿勢を示す 	衆院予算委。ウルグアイ・ラウンドの調停案が国会決議に反したときの政府の対応を議論。	<ul style="list-style-type: none"> ・ECとアメリカ間の閣僚交渉開始。 ・自民党の国会議員有志でつくる「日本の農業を守る特別行動議員連盟」の松岡利勝会長と「韓国農村出身議員連盟」の金泳鎮会長ら三人が日韓両国の 	読売931202
1993/12/2	木	<ul style="list-style-type: none"> ・農水省はURでコメ以外の輸入制限24品目の農産物を関税化の意向を固めたことに伴い、関連法令の改正方針を示す。 ・憲法発言を巡り、中西防衛庁長官、辞任。後任に新政党愛知和 		衆院予算委、中西長官の発言を巡り終日空転。	EC・アメリカ間の交渉は「3、4項目を残すだけ」の進展	読売931202 読売931202夕 読売931203 細川日記

1993/12/3	金	<p>○細川首相は衆院予算委で、連立与党の合意事項にミニマム・アクセス反対が含まれているかどうかについて、「部分開放も受け入れられないという与党合意の精神を踏まえて対応している」と答弁。山花政治改革担当相・武村官房長官は「文章には入っていないが、精神においては含まれる」と答弁。</p> <p>○細川首相・武村官房長官、京谷農水次官でコメ問題を協議、段取りの確認。</p>	<p>社会党は8日に代議士懇談会を開きコメ問題を協議することを決める。</p>	<p>衆院予算委、コメについて議論。</p>	<p>・ファット事務局はURの成功により、2005年時点の世界貿易は、新ラウンドがまとまらない場合に比べて約12%上回るとの試算などを盛り込んだ報告書を発表。</p> <p>・ファット事務局長はEC・アメリカ交渉について「6日にも発表できるような実質的な進展があったようだ」と語る。</p> <p>○農産物の関税化の先送りを容認する特例措置の条件として3つの基準を設定する方向が固</p>	<p>読売931204 読売931204夕 細川日記</p>
1993/12/4	土	<p>○日本政府はURのサービス分野で、9日に提出する最終国別表に、外国弁護士自由化を盛り込む方針を示す。</p> <p>○政府は95年からミニマム・アクセスを受け入れる可能性が強まったため94年度中に食糧管理法の</p>				<p>読売931205</p>
1993/12/5	日	<p>○細川首相は政治改革法案が越年したときの性人の取り方を成田秘書官と協議。1月まで会期を延長し、不成立時は解散と決める。</p> <p>○武村官房長官が細川首相に予算の年内編成を促す。</p>			<p>○韓国が条件付きでコメの関税化受け入れの方針を固める。</p>	<p>読売931206 細川日記</p>
1993/12/6	月		<p>○政府与党首脳会議で細川首相はコメ問題についてドウニ議長調整案が7日にも発表される見通しを伝える。</p>		<p>○米・欧州共同体(EC)の閣僚協議で、農業分野の合意が成立</p>	<p>読売931207 細川日記</p>
1993/12/7	火	<p>○閣議。</p> <p>○武村官房長官は6年間の関税化猶予措置について「少なくとも連立与党の八党・会派の合意や国会決議の原則を貫き、関税化は阻止できた」と語る。</p> <p>○武村官房長官が自民・森幹事長・橋本政調会長に調整案の内容を説得。</p> <p>○10日の閣議でコメ部分開放を決定する方針</p>	<p>○閣議前の政府与党首長会議でドウニ調整案の骨子に社会党村山委員長は頭を抱える。</p> <p>○社会党はコメの部分開放に反対する方針を確認。</p>	<p>○河野総裁は細川首相に部分自由化に反対との考えを伝える。</p>	<p>○佐賀県農協青年部協議会のメンバーはJR佐賀駅前でハンストを開始。</p> <p>○北海道、福島、島根、岡山、愛媛、福岡、熊本の道県議会が反対決議や反対意見書を選択。</p> <p>○サービス分野の協定案がホーズ議長から各国に提示</p>	<p>読売931207夕 読売931208 細川日記</p>

1993/12/8	水	<p>○細川首相は畑英次郎・農相のジュネーブ派遣を見送る。</p>	<p>○社会・野坂浩賢国会対策委員長はURでコメ部分開放を求める調整案について、政府に再交渉を求める意向を表明</p> <p>○社会・代議士懇談会でコメ部分自由化に反対する意見が圧倒的多数を占める。</p> <p>○新生・小沢幹事長は全中農協中央会北海道・東北ブロック代表からの「コメ自由化反対」の署名</p>		<p>○自治労(後藤森重委員長)中央委員会が開始。後藤委員長は、社会党はミニマム・アクセスの実施を求める調整案を受け入れるべきだとの考えを示した。</p> <p>○韓国青瓦台は金泳三大統領が九日午前、国民に向けた「特別談話」を発表すると予告</p>	<p>読売931208夕</p> <p>読売931209</p> <p>読売931210</p>
1993/12/9	木	<p>○政府は参院予算委でドウニ調整案の前文を公開</p>	<p>○政府与党首脳会議。</p> <p>○社会・中央執行委員会を開き、URの最終調整案受け入れ問題への対応を協議。</p>	<p>○参院予算委員会、平成五年度補正予算案の審議入り。</p>	<p>○UR、サービス分野の国別表提出最終期限</p> <p>○金泳三大統領は国内コメ市場の部分開放を公式発表。</p> <p>○ドウニ議長が農業調整案を提示、追加譲歩規程が発覚</p> <p>○全中の佐藤喜春会長らは細川首相を訪れコメの部分開放に反対</p>	<p>読売931209夕</p> <p>読売931210</p>
1993/12/10	金	<p>○閣議、閣僚懇談会。コメ市場開放への最終的な態度を協議するため、11日15:00に臨時閣議を開く方針を決める。</p> <p>○政府筋はURでコメ以外の小麦など農産物24品目の関税化とミニマム・アクセスの受け入れを95年から実施した場合、国内生産額の減少分は最大約3200億円との見通しを表明。</p> <p>○細川、羽田、武村の協議により羽田のジュネーブ派遣が決定。</p> <p>○細川首相はUR@ジュネーブに派遣した羽田孜外相の臨時代理に武村正義官房長官を指名</p>	<p>○政府与党首脳会議が流れる。羽田副総理のジュネーブ派遣問題で小沢・市川・米沢氏が反発したため。</p> <p>○与党代表者会議</p> <p>○社会党野坂浩賢国会対策委員長は「党を守り、国を守り、連立政権を守る立場に立つ」と述べる。</p>	<p>○自民党はコメ問題への対応を河野総裁に一任。</p> <p>○自民・森幹事長、橋本竜太郎政調会長は武村官房長官に外相の現地入りを要請</p>	<p>○UR、市場アクセス分野の国別表提出最終期限</p> <p>○米通商代表部(USTR)のミッキー・カンター代表と羽田孜副総理・外相が11日にもジュネーブでURについて会談する見通しが、米国筋から表明</p> <p>○米下院議員団は、UR最終合意案に米国の主張を通すよう要求。</p> <p>○「社会党と連帯する労働組合会議(全農林を含む)」の橋村良夫会長は社会党村山委員長と懇談し調整案受け入れ問題で連立政権離脱の事態は避けるよう求める。</p>	<p>細川日記</p> <p>読売931210夕</p> <p>読売931211</p>

1993/12/11	土	<p>○閣僚懇談会。ドウニ調整案受け入れ期限を13日と再確認。細川首相は期限の問題で小倉和夫外務省経済局長を叱る。</p> <p>○細川首相は13日に臨時閣議を開きコメの部分開放受け入れを正式決定する方針を固める。</p>	<p>○政府与党首脳会議が流れる。前日の後遺症。</p> <p>○社会党は臨時中央執行委員会でコメの部分開放の調整案への対応を協議</p> <p>○社会党がコメの部分開放で政府決定には反対せず、連立政権を離脱しない方針を固める</p>		<p>○EC・欧州理事会はURの音響・映像(AV)などで「アメリカの譲歩を強く求めることを確認</p> <p>○日本交渉団は非鉄で銅などの三品目を除いたすべての品目の相互関税撤廃・引き下げを提案。林産物の相互関税撤廃に抵抗。エレクトロニクスはECに家電など民生用分野の関税撤廃を要求。</p> <p>○サザランド事務局長はURの今後の日程を発表</p>	<p>細川日記 読売931211夕 読売931212</p>
1993/12/13	月		<p>○細川・羽田・武村・村山・久保らが院内会談。</p> <p>○午前1時。社会党はコメの部分開放に反対であるが総理の判断は了とすると立場を示す。</p> <p>○午前3時、政府与党首脳会議開催。</p>	<p>○河野総裁コメの部分開放の反対声明</p>	<p>○反ダンピングが大筋合意</p> <p>○UR実質討議終了日、最終合意案最終合意案の発表</p> <p>○経済改革研究会(平岩レポート)の最終報告案の修正案発表</p>	<p>細川日記 読売931213</p>
1993/12/14	火	<p>○コメ部分開放を閣議決定(午前3時すぎ)</p> <p>○第3次補正予算の編成方針を固める</p> <p>○政府税調、所得税減税の財源を消費税増税との組み合わせで行うことを確認</p>	<p>○45日の会期延長の申し入れ</p> <p>○社会党志苦裕は、社会党がコメ開放を決めたことに伴い中央執行委員・選挙対策委員長の辞任する方針</p>	<p>○渡辺美智雄元副総理・外相は会期の大幅延長に反対</p>		<p>朝日931214夕 朝日931215</p>
1993/12/15	水	<p>○岸田首相は「コメ部分開放」希望者全員の受け入れを決定</p> <p>○畑英次郎農水相はコメ部分開放の決着に伴い、京谷昭夫事務次官と塩飽二郎農水審議官の勇退を認めた。後任事務次官に鶴岡俊彦食糧庁長官、真鍋武紀経済局長をあてる。</p>	<p>○村沢牧・農水事務次官一両日中にも次官を辞任する考えを表明。</p> <p>○社会党右派「水曜会」(本岡昭次代表)、中間派「新しい社会党を創る会」(田口健二代表)などのグループが年内に発足させる新グループの名称を「民主政治</p>	<p>○国会会期45日延長が連立与党の賛成多数で決定、社会党議員6人欠席。自民党議員4人出席(西岡武夫、笹川堯、石破茂、大石正光)。</p> <p>○第2次補正予算成立</p> <p>○羽田外相と畑農相が土井たか子・衆院議長と会談</p>	<p>○ガリ国連事務総長は日本の安保理常任理事国入りを望むと発表</p> <p>○冥王星と海王星の間に4つの小天体発見</p> <p>○イギリス・アイルランド共同和平宣言を発表</p>	<p>朝日931215夕 読売931215夕 朝日931216 読売931216</p>

1993/12/16	木	<p>○通産省はURの妥結を受けて対米乗用車輸出自主規制などの「灰色措置」を廃止する方針を固める</p> <p>○農水省はURに提出した農林水産物の最終国別表(概要)を発表</p> <p>○細川首相は政治改革関連法案の審議協力を自民党河野総裁に要請</p> <p>○経済改革研究会が平岩レポートを細川首相に提出</p>	<p>○社会党村山委員長は細川首相に年度予算の年内編成を要請</p> <p>○新生党・小沢幹事長雲隠れ(26日まで)</p> <p>○連立与党幹事会は12/29～1/3を国会の自然休会とすることを決定</p>	<p>○自民党橋本政調会長は細川首相に年度予算の年内編成を要請</p> <p>○石破茂、大石正光、笹川堯が離党届を提出</p>	<p>○参院定数初の違憲判決、格差6倍。</p> <p>○田中角栄死去</p>	<p>朝日931216夕 読売931216夕 朝日931217 読売931217 武村回顧録</p>
1993/12/17	金	<p>○細川首相、年度予算案の越年編成を表明</p> <p>○緊急農業農村対策本部(本部長・細川首相)設置を閣議決定</p>	<p>○連立与党は22日までに参院政治改革特別委員会で、政治改革関連法案の総括質疑に入る方針を決定</p>	<p>○自民党西岡武夫元総務会長が離党届を提出。</p> <p>○自民党総務会は政治改革関連法案に賛成し、党から処分を受けた8議員の再審請求の却とを全会一致で決定。8議員は、赤城徳彦、小坂憲次、佐藤静雄、西岡武夫、増子輝彦、山口俊一、石破</p>		<p>読売931217夕 朝日931218 読売931218</p>
1993/12/18	土		<p>○社会党赤松前書記長ら右派と日本新党有志との合同勉強会「長期基本問題研究会」が22日</p>		<p>○連合山岸会長は年度予算の越年編成を批判</p>	<p>朝日931219</p>
1993/12/19	日		<p>○社会・村山委員長は政治改革法案が成立しなければ解散もあり得るとのべる</p>			<p>朝日931220</p>
1993/12/20	月		<p>○政府与党首脳会議、予算編成の時期を巡った小沢・市川と久保の対立により流れる。</p> <p>○政府与党連絡会議。</p> <p>○社会・久保書記長は第3次補正予算は減税が軸と語る</p>	<p>○自民党税調は独自の税制改正大綱のとりまとめを来年1月に先送りすることを決定</p>	<p>○OECDが加盟国の来年の経済成長の見通しを発表、日本は-0.5%</p> <p>○連合山岸会長は性試合各法案が不成立になった場合解散とする議論を批判</p> <p>○日中初の安保協議開催</p> <p>○【米通商代表部(USTR)ミッキー・カンター代表は米通商法三〇一条は、URの合意によっても制限を受けないとの見解を表明。具体的な運用の検討対象として、日本市場での外国系半導体問題に言及。</p>	<p>細川日記 朝日931221 読売931221</p>

1993/12/21	火		<p>○政務幹事会で第3次補正予算案の編成を政治改革法案の処理後に行う方針を決める。</p> <p>○社会党に連立政権を積極的に支持する新政策集団「デモクラッツ」発足。挨拶で社民阿部書記長は社民連解散をにおわせる。</p>	<p>○自民税調内で村山会長と山中貞則・塩川正十郎が対立。</p>	<p>○「社会党を支持する有志労働組合」代表が村山委員長に対して政府案に反対する議員の処分を科すよう求める</p>	<p>朝日931221夕</p> <p>朝日931222</p>
1993/12/22	水	<p>○経済問題協議会の初会合、減税規模を議論。また消費税率あげを議論。</p>	<p>○自民党の出席がなくとも政治改革法案を24日から審議入りする方針を決める</p> <p>○社会党村山委員長は志苦選対長に留任を要請、志苦氏は容認の意向</p>	<p>○自民党内に「景気対策最優先・政治改革実現の会」発足</p>	<p>○細川内閣支持率60%に下がる</p> <p>○エリツインロシア大統領はKGBを引き継いだ保安省を廃止し防諜局を大統領直属に設置することを命令</p> <p>○仏バラデュール首相はUR最終合意に関連し、日本の対欧州共同体(EC)自動車輸出自主規制の継続を求める</p>	<p>朝日931222</p> <p>朝日931222夕</p> <p>朝日931223</p> <p>読売031224</p>
1993/12/23	木	<p>○細川一竹下会談。</p>		<p>○自民党は政治改革法案の27日審議入りで折衝の方針</p>		<p>細川日記</p>
1993/12/24	金	<p>○第1回緊急農業農村対策本部を開設</p> <p>○細川首相は今国会で政治改革法案を成立させることが政治責任と語る。また年内不成立を陳謝</p> <p>○細川首相は日本新党と新党さきがけの合併について、政界再編は政治改革法案が通ってから本格化すると語る。</p> <p>○通産省は米国向けの工作機械輸出自主規制(VRA)を今年末で撤廃すると正式発表</p>		<p>○政治改革法案、参院で審議入り。</p>		<p>細川日記</p> <p>朝日931225</p> <p>読売931225</p>
1993/12/25	土		<p>○園田、武村の更迭に反対。</p>			<p>細川日記</p>
1993/12/26	日	<p>○羽田副総理・外相は政治改革法案の修正に応じる構えを示唆</p>	<p>○新生党、24番目の地方組織石川県連が発足。再編・解散に向けた地方組織作りが加速</p> <p>○新生党・小沢幹事長の雲隠れ終わり、細川首相・公明党市川と会談(会談内容は武村官房長官には極秘)→細川・武村に距離</p>		<p>○万葉集「幻の定家本」が発見との記事</p>	<p>朝日931226</p> <p>朝日931227</p> <p>武村回顧録</p>

1993/12/27	月	○細川首相は政治改革法案の修正に前向きな姿勢を示す			○国会議員の資産報告書が公開。自民議員の資産は非自民議員の1.4倍 ○食糧庁、外国産米80万トンの追加輸入を発表	朝日931227夕
1993/12/28	火	○武村官房長官は衆院解散を強く否定 ○来年の日米包括経済協議の日程が固まる	○公明党市川書記長は腐敗防止法案の選考論を批判 ○民社党米沢書記長は政治改革法案の骨格修正に否定的な考えを示す ○社会党村山委員長は総選挙を想定した体制作りを示唆	○自民党の選挙制度改革推進派議員が細川・河野トップ会談を両者に申し入れ ○自民・共産は年明けに予算委の開会を政府与党に要求		朝日931228夕 朝日931229 読売931229
1993/12/29	水	○加藤政府税調会長は、細川首相に消費税増税と減税は一体であると強調	○社会党村山委員長は、政界再編で自民党護憲派と連携することの展望を述べる			朝日931230
1993/12/30	木	○細川首相、21世紀ビジョンを発表	○民社党が食管法の見直しを提言		○米特殊鋼メーカー5社と全米鉄鋼労組は日本など五か国がアメリカにステンレス棒鋼をダンピング輸出しているとして、商務省と国際貿易委員会(ITC)に提	細川日記 朝日931231 読売940101
1993/12/31	金		・細川首相、政治改革法案を成立させた後に日本新党・新生党の提携に踏み切る意向を固める。将来的には「新党さきがけ」を含めた保守三新党による新党結成を視野にいれる。			読売930101
1994/1/1	土	・細川首相主宰の新年祝賀会を公邸で開く。			・NAFTA、EEA発足。 ・アフガニスタンで大規模戦闘。首都カブールで大統領派と反対派複数勢力が92年5月の停戦協定以来最大規模の戦闘に突	読売940101 読売940103
1994/1/2	日			・渡辺美智雄元副総理が地元後援会の新年会で講演。政治改革法案の成否と絡めて「1月に解散している暇はない。今年度予算は選挙の後の5月頃になり、景気対策が先送りになる」と述べ反対。また「腐敗防止法を先にあげて、選挙制度改革は強行でやるのではなく」と腐敗防止策を先行処理す		読売940103

1994/1/3	月	・首相、日本テニス協会理事の坂井とテニス。	・社会党がURでコメ部分解放を受け入れる事を受けて、農業・農村・食料緊急対策を発表。①農業基盤の整備 ②中山間地域などの農家に所得保障を行う ③食料備蓄法を制定、常時200万トンのコメ備蓄体制を整え、最低輸入量による輸入米を含むこの内の50万トンは、備蓄期間後、	・渡辺美智雄が栃木県鹿沼市での年頭挨拶で「公明党は完全に政教分離してもらわなければならない」、「公明党を牛耳っているのは池田大作だ。池田さんは公明党の大臣を決めるといった話だ。また何千億円という金を一年に集めて、その金がどこにいったのかわからないなどと、公明党を批	・箱根駅伝、山梨学院大学優勝。慶應義塾大学は19位。	読売940103 読売940104
1994/1/4	火	・細川首相、伊勢神宮に参拝。神宮司庁内で記者会見し「解散、総辞職は考えず」と発言。	・連立与党が代表者会議で「政治改革」今国会成立を確認。 ・社会党中間・右派を中心とする制作集団「デモクラッツ」が拡大幹事会で「政治改革を今国会中に実現し、細川連立政権を支える」と表明し、左派に対抗。 ・社会党仕事始め。公明党両院議員総会。新生党両院議員総会。	・共産党旗開き。	・九大医学部附属病院でドナー心肺停止後の肝臓移植手術に失敗。 ・宗教法人や学校法人などの公益法人に対する課税を強化し、収益を目的にした事業に適用されている軽減税率を1%引き上げ、中小企業並みの28%とする方針を固める。	読売940103 読売940105
1994/1/5	水		・社会党の村山委員長、地域ブロック代表七人と会合し執行部に対する協力を要請、大筋の合	・参院特別委、自民党欠席。	・北朝鮮、核査察受け入れ。	読売940106 読売940106夕 読売940109
1994/1/6	木	・新年初閣議。閣議で悪化する雇用情勢への対策を検討する本部設置を決める。 ・安保会議 ・夕刻から緊急雇用問題対策本部、内外情勢調査会新年会。	・社会党久保書記長、「デモクラッツ」幹部と会合。左派と対立した時は、相打ちして執行部のフリーハンドを確保する方針を確認。 ・社民連が全国運営委員会を開き20日をめどに解党する方針を固める。解党後、デモクラッツへの合流を支持する安倍昭吾と、さきがけ日本新党への合流を支	・参院特別委、自民党今日から出席。 自民党初役員会、新年祝賀会。「景気優先」だけでなく「政治改革」を含めた2本立てに国会方針を修正。	・日米包括経済協議の米側責任者ポーマン・カッター大統領補佐官が読売新聞との単独インタビューで「2/11の日米首脳会議で良い結果が得られるかどうか悲観的になっている。細川政権が政治改革だけでなく、経済問題にも労力を注がないなら、満足できる日米サミットは開けない」と述べる。	読売940106読売 940107読売 940108読売 940109
1994/1/7	金	・参院政治改革特別委にて佐川急便借入金問題で追求される。	・政治改革法案で与党が修正案を自民に打診。 民社党旗開き。		・昭和天皇五年式年祭。 ・中国残留婦人5人が自費帰国。中国帰国孤児定着促進センターに入所。	読売940108
1994/1/8	土	・細川首相、母校の上智大学を訪問。			・羽田外相が訪中、李鵬首相と会談。「北朝鮮の核」に対して「中国の影響力行使」を要請。中国からは日台交流を牽制され	読売940109

1994/1/9	日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会へ法整備、痴呆性老人の財産保護など。法制審の民法部会が検討に入る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自民党の若手改革推進派の北川正恭・副幹事長がフジテレビで党の政治改革法案への対応によっては集団離党もありうるという含みを持たせる発言をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田外相が江沢民中国主席と会談。主席は軍拡を否定、「アジア安定へ協力」で一致。 	読売940110
1994/1/10	月	<ul style="list-style-type: none"> ・参院政治改革委、17日に公聴会で議決。 ・政府与党首脳会議。政治改革の他、羽田副総理の訪中報告など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党大会を前に、中間左派と中間右派が活発な前哨戦を展開。 ・社会党の村山委員長、野坂国 	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党は17日の開催に同意するものの、地方公聴会を18、19日に開催要求。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創価学会と公明党が連絡協議会を公明会館で開く。平成4年4月22日に関して以来一年九ヶ月ぶりの七回目の開催となる。 	読売940111
1994/1/11	火	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョン・ロックフェラー米上院議員が細川首相を表敬訪問。2/11の日米首脳会談に対して期待を表明。 ・米側からの「日本の官僚が日米包括経済協議の合意を妨げている」という批判に対して、熊谷通産相は「事務方と政治家の判断に違いはない」と一転して官僚を擁護。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党大会で村山委員長が、政治改革法案、今国会成立に全力。連立から離脱否定。を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党が来年度運動方針案の起草委員会(委員長・平沼赳夫)を開き、運動方針に「政権奪還」と「景気回復」を掲げる。 ・厚生省が臓器移植法案の要綱案での臓器提供の承認手続きについて指針を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア新連邦議会が開幕。 ・松下電器産業が3DOリアルを発表。 	読売940112
1994/1/12	水	<ul style="list-style-type: none"> ・政治改革成立後の今月末に内閣改造の構想が急浮上。武村正義(新党さきがけ代表)の処遇が焦点と報道される。 ・18日に地方公聴会開催で決定。 ・細川首相、税制改正について、尾崎護元大蔵事務次官と秘かに公邸で会い意見を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党大会、連立路線を確認し閉幕。 ・新生党とさきがけの若手議員が合同勉強会を発足。今後の政界再編をにらんで、両党関係の緊密化を狙い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参院政治改革委、委員長不信任を可決。自民・共産・二院クラブが賛成。審議日程にも影響。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中仏関係正常化。フランスが対台湾取引を自粛。対中への本格進出を狙う。 	読売940112 読売940113
1994/1/13	木	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相、「内閣改造は考えていない」と記者団に否定。しかし、小沢に近い与党幹部は①山花貞夫政治改革担当相の花道を作り、村山委員長を入閣させる事で社会党閣内に取り込む、②武村官房長官を交代させる、という考えが 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党、大敗を受け山花委員長辞任説が浮上。自衛力と日米安保を許容する93年宣言案を策定。 ・連立与党幹事会で予算政府案は2月10日から政府案決定で確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党の派閥実力者会議が都内ホテルで開催。渡辺美智雄、小淵恵三、河本敏夫の三人が出席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入米の政府売り渡し価格決定。国産より16-40%安。農水省は米価審議会懇談会に報告し正式決定。 ・経団連次期会長に豊田章一郎が内定。 	読売940114

1994/1/14	金	<ul style="list-style-type: none"> 閣議 政府連立与党は、政治改革法案を21日までに参院本会議で可決・成立させ、法案の再修正については予算案成立後に①小選挙区比例代表並立制の比例選議席阻止条項を3%から2%に引き下げる、②戸別訪問解禁は現行通り禁止とするの二点に留める事を決定。 細川首相は、社会党の女性議員を首相官邸に招いて協力を要請。 細川首相56歳の誕生日を迎える。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党の久保田書記長が、法案に反対する恐れのある参議院議員と個別に会って説得に努める。 連立与党は、動議提出を見送る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党は、政治改革関連法案の共同修正による決着を図るため、河野総裁と細川首相のトップ会談を含む与野党折衝への対応を総裁に一任すると決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 久保田経企庁長官は「景気なお厳しい」と月例経済報告閣僚会議に1月の月例経済報告を提出。 	読売940115 細川日記
1994/1/15	土	<ul style="list-style-type: none"> 政府は所得税減税について、成立前の課税分6月に前倒して還付する方針を明らかにした。 園田・成田秘書官が政治改革法案の票読み。①新生・公明グループ②社会党グループ③日新さきがけグループの三極を予想。 			<ul style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験初日。49万人が受験。 	読売940116
1994/1/16	日				<ul style="list-style-type: none"> Jリーグの初代王者に読売ベルディ。 	読売940117
1994/1/17	月	<ul style="list-style-type: none"> 政治改革中央公聴会。 参院政治改革特別委員会の理事懇談会での日程協議が決裂。与党側は委員長職権で19日の委員会開催を決めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 使途不明金、課税強化の方針を連立与党の政策幹事会で方針を決定。 新生党の小沢一郎が70日ぶりに会見を再開。ゼネコン献金問題に質問が集中。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党河野総裁は、政治改革関連法案の成立について①小選挙区制の定数配分は280、②比例代表ブロック単位名簿で全国集計、③政治家個人の企業・団体献金は当面、一団体については認め、五年後に見直すの3項目修正で決着を目指す意向を固める。 	<ul style="list-style-type: none"> ロスでM6.6の地震発生、非常事態宣言を発令。 	読売940118
1994/1/18	火	<ul style="list-style-type: none"> 政治改革地方公聴会。修正要求が相次ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 社民連の江田代表は、24日に社民連を解散する意向を発表。 	<ul style="list-style-type: none"> 3%条項緩和など、4項目の修正要求。民社・スポーツ・国民連合。 自民党森幹事長が①衆院の総定数500、小選挙区定数280以上、②比例代表選の単位は最低限ブロックとする、③個人の政治資金管理団体への一定の企業・団体献金を認める。との案を示 	<ul style="list-style-type: none"> 六割が不況型倒産と帝国データバンクがまとめる。 	読売940119
1994/1/19	水	<ul style="list-style-type: none"> 細川・河野・斉藤・浜本らによる政治改革法案修正協議が難航。参院「企業献金」対立が続く。トップ会談は困難に。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党は中央執行委員会で自民党の修正要求に対して、定数の修正要求を容認すると了承。 		<ul style="list-style-type: none"> 消費税名称変更を検討。福祉税など性格表示。 	読売940120

1994/1/20	木	<ul style="list-style-type: none"> 政治改革法案、参院特別委で可決。政府案を修正せず。 細川首相、動向が注目される与野党議員に電話で直接説得にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党の村山委員長が党中央執行委員会で党の結束を要求。慎重派の中心人物である志苦裕に党の方針に従うように要請。 民社党の米沢書記長は、本会議で否決されれば自民党案に近くなると予想。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党の星野議員が造反。特別委で賛成にまわる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日米特許法改正で合意。 農水省は95年から始まるコメの部分開放を受けて、複数の年度にわたってコメの需給調整を行う新たな備蓄制度を創設する方針を固める。 2008年オリンピックに大阪市が 	<p>読売940120夕 読売940121</p>
1994/1/21	金	<ul style="list-style-type: none"> 閣議 政治改革法案、参院本会議で否決。賛成118、反対130の12票差。「両院協」を要請。 両院協で成案を得る。衆議院の3分の2以上で再議決するという二段ロケットでいくことを政府与党で確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党が法案否決で「深くお詫び」声明。村山委員長が辞任の意向を表明。参院で17名が造反。 新生党の羽田党首が法案成立の為なら自民党案を全面受け入れしても良いという見解を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党から5名が造反。 自民党の政治改革推進派の北川正恭は、政治改革国民集会で「政治改革の仲間の非力のため、自民党を賛成に回らせることができなかった」と謙虚に謝罪し、「私達も内なる闘いで頑張るが、闘いやすい状況を作っていたきたい」と与党に注文をつける。 自民党が外相・農水相の不信任 	<ul style="list-style-type: none"> 貿易黒字過去最高を更新。大蔵省発表93年分の貿易統計によると貿易黒字は前年比の13%増、1204億4000万ドル。 米政府が参院での否決を受けて日米首脳会談の延期を検討。 	<p>読売940122 細川日記</p>
1994/1/22	土		<ul style="list-style-type: none"> 社会党中央執行委員会、参院の造反で除名を含む処分検討。 新生党の羽田孜党首は腐敗防止先行論を批判し、法案成立への強い期待を示す。 			<p>読売940123</p>
1994/1/23	日	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相、政治改革法案の国会成立へ「最後の努力」を表明。 		<ul style="list-style-type: none"> 自民党の森幹事長は「議会のルールだから、設置されれば否定するつもりはない」と両院協での協議に応じる意向を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 来日中の米財務長官は、日米包括経済協議について「不十分な合意ならない方がいい。首脳会談までに合意できなければ、協議の枠組みを基礎から再検討しなければならないだろう」と日本の交渉態度に強い不満を示し、譲歩を迫った。 貴乃花、優勝。大相撲初場所 	<p>読売940124</p>

1994/1/24	月	<ul style="list-style-type: none"> 衆議院議員運営委員会理事会で両院協の開催に与野党が合意。 ただし、与党としては、①両院協では小選挙区の定数配分を280以上にするなどを基本に修正折衝に当たる、②協議が不調に終われば、衆院本会議での再議決を図る、③両院議長の下に協議機関を設置して、与野党協議を行うとの自民党の構想には応じない、などの方針を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党が参院議員総会を開く。反対議員のうち①党籍のある者に対しては、党除名を含めた厳しい処分を行う。②非党員に対しては、社会党との統一会派からの離脱を勧告する。③比例選当選者については、議員辞職勧告を行う。などを内容とした処分方針を決定した。 社民連が解散。「さきがけ・日本新党」と合流。参院本会議で造反した田英夫参院議員は離党。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党の慎重派が「法案に関する議論は終了する」という緊急提議をし、渡辺美智雄が同調した為、両院協の設置が25日にずれ込む。 	<ul style="list-style-type: none"> 東証急落。政局絡み、景気対策の遅れに失望感。 	読売940124夕 読売940125
1994/1/25	火	<ul style="list-style-type: none"> 閣議 衆議院議員運営委員会の理事会で、26日から両院協を開くことを決定。与党は新たに①企業・団体献金を国会議員の資金管理団体にも認める。②比例選の選挙単位を11ブロックにするなど、自民党案に大幅に歩み寄った妥協案を提 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党の村山委員長は、骨格修正にも柔軟に対応すると表明。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党は総務会で推進派と慎重派の間で激論が三時間つづく。 	<ul style="list-style-type: none"> 米・クリントン大統領が一般教書演説。内政改革に全力。 	読売940126
1994/1/26	水	<ul style="list-style-type: none"> 「両院協」を設置、衆院本会議で決定。参院で否決された「政治改革法案」修正問題を協議で初会合となったが、自民党が具体的協議に入る事を拒み、わずかに二分で終了、実質協議持ち越し。 	<ul style="list-style-type: none"> 与党代表者会議で妥協案をまとめる。①小選挙区280、比例代表220の合計500。②比例代表は七ブロックで選挙を行い、全国集計。③地方議員に対する企業・団体献金を認める。ただし五年後には廃止。地方自治体の首長には認めない。④戸別訪問は現行通り禁止。⑤政党要件を得票率二%とする。 連立与党は、政策幹事会で平成六年度予算編成基本方針を主 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党本部で政治改革推進議員連盟の会合を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> 農相問責決議を否決。自社15人が欠席。 武蔵丸、貴ノ浪、大関同時昇進。 	読売940127
1994/1/27	木	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相、民間政治臨調緊急総会で挨拶 両院協議会打ち切り。「政治改革」修正協議が整わず。細川首相「地位にこだわらない」と政治改革法案不成立の場合の覚悟を示す。 武村官房長官は、記者会見でトップ会談にでの決着に期待を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会党の造反議員たちが「処分方針は不当で受け入れられない」と村山委員長に申し入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自民党の五派閥が総会を開く。三塚派は離党思考の推進派が多数。小淵派はゼネコン疑惑で求心力が低下。渡辺派は造反者が絶えない。河本派は小所帯なので、これ以上の目減りは避けたい。などと報道される。 両院協の打ち切りを受け、執行部、選挙制度改革推進派・慎重派がそれぞれ異なる対応をし、足並 	<ul style="list-style-type: none"> 在外邦人の救出などに関する自衛隊法改正案は継続審議で合意。 	読売940128

1994/1/28	金	・細川・河野会談で政治改革関連法案の修正合意。定数を小選挙区300、比例代表200で、選出単位を11ブロックとする。	・社会党は、緊急中央執行委員会と三役会議で、政治改革関連法をめぐる細川・河野トップ会談の合意を受け入れると決定。 ・社会党の土井議長が議長幹旋案を出す、採用はされなかつ	・自民党の役員会で「私心を捨て、国の将来を見据えて、がんばりたい」とトップ会談で決着をつける覚悟を渗ませる。	・米国上院が日独の安全保障理事国入の条件として「PKO全面参加が条件」と決議。	読売940129
1994/1/29	土	・政治改革法案が成立。衆参両院本会議で可決、成立。臨時国会は閉幕。細川首相、消費税上げを考えず。景気対策、週内に。自民との協調に意欲と会見。	・社会党から23人が造反。	・自民党から4人が造反。 ・自民党の森幹事長が読売のインタビューで閣外協力の可能性を表明。		読売940130
1994/1/30	日	・武村官房長官が減税先行、赤字国債で、消費税上げ分離。と言			・イスラエル占領地「撤退最終合意近い」とPLOアラファト議長が	読売940131
1994/1/31	月	・第129回通常国会召集。会期は6月29日までの150日間。総合景気対策の全容が明らかに。公共事業など八兆円。				読売940201
1994/2/1	火				・読売新聞「全国世論調査」。細川内閣支持72%に上昇。政治改革法、64%が成立評価。 ・労働省発表「毎月勤労統計調査」。実質賃金13年ぶり減少、総実労働も59時間減。	読売940201
1994/2/2	水	・国民福祉税を創設、税率7%、3年語消費税代替。6兆円減税で政府・与党決定。 ・来年度税制改正で政府・連立与党は方針を固める。	・社会党は連立離脱の動き	・自民党内のトップ会談		読売940202
1994/2/3	木	・景気対策15兆1千億円に。政府が取りまとめた総合経済対策が明らかに。 ・旧ユーゴ支援に1千500万ドル、要員	・午後、与党代表者会議や党首会談が開かれる。		・来日したミッキー・カンター米国代表と日本側との閣僚会談。 ・米、対越制裁を解除、相互に連絡事務所設置。	読売940203 読売940203夕
1994/2/4	金	・減税、福祉税とも白紙に、連立与党一致。修正で調整つかず。	・参院与党、5党派で統一会派「親縁風会」結成で合意。		・H-II打ち上げ成功。 ・米、金融引き締め。短期金利上昇、公定歩合上観測も。	読売940204
1994/2/5	土	・使途不明金97%課税に、公益法人の非課税圧縮。政府・連立与党は方針を固める。 ・ロシアの核廃棄物処理、陸上施設建設に資金協力へ。政府は検討する方針を固める。			・読売新聞「全国世論調査」。総選挙「自民に投票」6割減、社党も7割減。	読売940205

1994/2/6	日		・教育控除3万円上げ、中堅所得層の負担軽減へ。連立与党の政務・政策の合同幹事会が決め。94年度税制改正で実施される。 ・年内に増税結論、連立与党は代表者会議を開き最終調整案をまとめる。斜塔派難色示す。 ・午後、協議を再開		・サラエボ周辺、空爆承認を要請。ガリ国連事務総長がNATOへ書簡	読売940206
1994/2/7	月	・国会内で代表者会議中、政府は福祉税手直し検討。			・93年の経常黒字、過去最高。前年比11.7%増の1千313億ドルに。 ・経団連次期会長二豊田氏決定。 ・米95年	読売940207 読売940207夕
1994/2/8	火	・夕刻 6年度予算編成で、橋本自民党政調会長。 ・政府は総合経済対策を決定。			・第129通常国会が開幕。	読売940208
1994/2/9	水	・政府税調が答申。	・94年度税制改正大綱、与党が決定。		・防衛費伸び0.7-0.8%、34年ぶり低水準固まる。 ・サラエボ空爆、最後通告。	読売940209
1994/2/10	木	・細川首相訪米、ワシントン到着 ・羽田・カンター会議「数値目標」で日米譲らず。		・経済見通し「2.4%成長」を閣議了承。	・94年度予算の大蔵省原案を内示す。	読売940210
1994/2/11	金	・日米首脳会談が物別れ。 ・細川首相、連立与党の枠組み尊重、総選挙へ意向表明。		・「小選挙区には勝てる候補を」、自民党の森幹事長は「当選回数少ない人を優先して擁立する」との従来方針を見直す考えをあき		読売940211
1994/2/12	土	・細川首相、「数値目標」拒否貫く、と言明。			・両陛下「玉砕の島」へ。 ・太平洋側に大雪、都内20センチ超す積雪 ・リレハンメル五輪開幕。	読売940212
1994/2/13	日		・公明党の拡中委で市川書記長は、党執行部として消費税率上げ容認する方針を明確にした。 ・新生党の小沢代表幹事は「細川党首で新・新党」のかんがえを		・東京国際マラソンモネゲッティ(豪)が初優勝。 ・総理府発表「外交に関する世論調査」。途上国への援助、消極派が57%に。	読売940213
1994/2/14	月	・首相は内閣改造の結論持ち越す。 ・政府は行革委員会設置。	・社会党村山氏、入閣拒む。		・円急騰、一時103円台。 ・蔵相に1千万円献金、塩卸売業界の政治団体ガ、昨年3月就	読売940214
1994/2/15	火	・94年度予算政府案決まる。			・円高、急激に進む一時101円台 ・米が対日制裁を決定、携帯電話問題で。 ・北朝鮮、核査察に同意。IAEAと協議、申告済み核関連施設7	読売940215
1994/2/16	水		・衆院で3次補正論戦。藤井蔵相の財政演説と、これに題する質疑を行う ・内閣改造、新党さきがけが現時点での改造に反対の方針を正式	・自民党橋本氏が景気対策の遅れを厳しく追及。 ・自民党衆院議員、元農水相、近藤元次氏死去。	・貿易黒字17%増(1月前年比)の61億600万ドルで、対米黒字は同7.0%増。 ・米大統領、対日通商政策で「301条」復活を示唆。	読売940216

1994/2/17	木	・細川首相、日米包括協議対応で武村官房長官や交渉関係者らと協議。規制緩和推進など4項目、史上開放で政府は具体策急ぐ。			・「対日」米貿易赤字593億1千800万ドル、過去最高。	読売940217
1994/2/18	金	・細川首相、日米間の貿易収支不均衡是正に努力、米側の自制望むとの考えを衆院予算委答弁で表明。・政府は閣議で税制改正要綱を決定、4兆2千470億円の			・高校中退者2年連続。過去最低10万1千194人。 ・サラエボの重火器撤去、イスラム勢力も同意。	読売940218
1994/2/19	土				・通信・放送事業参入許可一本化へ。 ・河野はスキー複合個人、リレハンメル五輪で、逆転の	読売940219
1994/2/20	日	・細川首相、武村官房長官と調整。	・与党内、早期内閣改造が大勢に。 ・改造あくまで予算成立後に。社会党の村山委員長は考えを強調。		・華やか、らん展開催、「世界らん展日本大賞94」が東京・後樂園の東京ドームで。 ・国連、兵員追加派遣を要請。ボスニアPKO、重火器管理他、2	読売940220
1994/2/21	月	・首相は衆院予算委答弁で基盤防衛を見解表明。			・核廃棄物海洋投棄全面禁止案が発効。ロシア派異議申し立	読売940221
1994/2/22	火		・連立与党は自民案を大筋で受け入れる。		・景気動向、3ヶ月連続50%割れ。 ・日本、ジャンプ団体で	読売940222
1994/2/23	水			・3次補正予算が成立。	・外国人の来日前年下回る、341万人。円高が観光客直撃。	読売940223
1994/2/24	木		・連立与党と自民党は政治改革法について、修正案で最終合	・「年内にも新党」確認、横路北海道知事と山岸連合会長が会談。	・大昭和側、1億円贈賄認める。 ・スキーの複合団体連覇で	読売940224
1994/2/25	金	・細川首相、「来月中に史上開放策」とりまとめを関係閣僚懇で指示。	・村山社会党委員長は「党名にこだわらぬ」と社民・リベラル結集過程で党名変更にも柔軟な考えを示す。	・竹内前知事鹿島との現金授受否認。	・米の「日本開放策」の関心項目、非公式伝達があきらかに。 ・パレスチナ人百数十人死傷、礼拝の市民に自動小銃を乱	読売940225
1994/2/26	土	・防衛計画全体見直し、政府は再検討する方針を固める。			・北朝鮮に核査察、3月1日開始で合意。米韓演習を中止。 ・ロシア、ルツコイ元副大統領らを釈放。 ・G7開幕、黒字減消・市場開放をと日本に具体策迫る。「対口支援、継続」を確認、閉幕。	読売940226
1994/2/27	日	・細川首相、週内内閣改造に意欲。施政演説は先送り厳冬を示唆。	・社民・リベラルで将来新党結成も。村山委員長はNHKの討論番組で初言及。	・自民党の渡辺美智雄・元副総理は民法テレビの報道番組に出演、考えを示す。	・リレハンメル五輪、16日間の熱戦終わる。	読売940227

1994/2/28	月	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相、「規制緩和推進など柱」施政方針演説で表明へ。 ・武村長官に横滑り要請。首相、週内改造断行で調整。 ・政府与党首脳会議 ・細川首相はガビリア・コロンビア大統領との会談 			<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡所得の申告漏れ7千87億円。 ・武双山史上最短で関脇、初土俵から8場所目。 ・NATO米軍器初の武力行使。 	読売940228
1994/3/1	火	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相はさきがけ、社会党、民社党、新生党、公明党、民改連の党首・代表と個別会談を実施。「マイナス大きい、ぜひやりたい」と発言。 ・施政方針演説が四日に行われることが決定。 ・内閣支持率が初めて50%台に落ち込む。 ・武村官房長官は内閣改造の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・さきがけ、社民、民社、民改連の党首・代表が内閣改造に反対。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地・住宅対策を中心とする緊急経済対策と対外経済問題の二つのテーマについての経済チームを設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボスニアが二極対立。 	読売940301夕 読売940302
1994/3/2	水	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相は新生党、さきがけ、社会、公明、民社、民改連の党首・代表と会談。その後、内閣改造の断念を記者会見で発表。武村官房長官の更迭も実施せず。参院選挙を見直す考えを表明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村山社会党委員長が武村官房長官・大内民社党委員長と会談。 ・小沢氏は細川・羽田会談に同席。 ・公明党は一転して、内閣改造 	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣改造断念をうけ、対決姿勢を強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五輪旗が長野の到着。 ・第三回日露防衛研究交流で「日米安保は必要」と露側から発言。 	読売940302夕 読売940303 読売940308
1994/3/3	木	<ul style="list-style-type: none"> ・防衛庁内に大綱見直しの検討会議を設置。 ・タイ首相との首脳会談が決定。 ・細川首相はクリントン大統領にスーパー301条の復活を通告される。 ・政治改革関連法の修正案が参 	<ul style="list-style-type: none"> ・各党で議員総会が開催。 ・武村官房長官と鳩山由紀夫官房副長官は党議員総会に今後出席しないことを明言。 ・渡辺恒三が社民・リベラル勢力結集の動きを牽制。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河野総裁は細川内閣の使命が終わったことを強調。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北実務協議を再開。 ・IAEAが北朝鮮の核査察を開始。 ・米朝高官協議の21日からの開催を発表。 ・米通商法スーパー301場が復活。 	読売940303夕 読売940304

1994/3/4	金	<ul style="list-style-type: none"> ・参議院本会議で政治改革修正法が可決。 ・細川首相が初の施政方針演説を行う。 ・羽田外相は日露正常化を目指すことを外交演説で表明。 ・山花政治改革担当相が細川首相に進退伺も慰留され、留任。 ・2.4%の経済成長を目指すことを閣議決定。 ・衆院選挙区画定審議会委員の人選に着手。 ・衆院小選挙区の区割り法案提出へ国会延長が必要な見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田新生党党首は両院議員総会で大統一会派構想を支持。 ・日本新党は新しい党則を決定し、執行部は一新する考え。 ・新生党首脳は都道府県議会にも小選挙区導入を目指す考え。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相が佐川急便問題の資料提出拒否なら予算審議に応じない方針を固める。 ・河野総裁は施政方針演説を「事務的な作文だ」と批判し、対決姿勢を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国務次官補、日米包括協議での数値目標化を否定。 ・EUやGATTはスーパー301条の復活を非難。 ・IDOは米要求を受け入れ、モトローラ式の基地局を増設。 	<p>読売940304夕 読売940305</p>
1994/3/5	土	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア支援のためにロシア極東地方に調査団を派遣。 ・地方分権の大綱を年内取りまとめの意向。 ・南アフリカの選挙監視に10人程度を派遣。PKO法の適用を調整。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野坂社会党国対委員長は税制の抜本的改正は年越しも見据える。 ・政治改革法案に反対、欠席した社会党左派議員が政策集団結成へ。 ・久保社会党書記長は社会党全国書記長会議で基本政策の転換を強調も、地方は抵抗。 ・渡辺新生党代表幹事代行は、連立与党内の路線論争は参院選後まで凍結すべきと強調。 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡辺元副総裁は大連立に前向きな意向。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国務次官は日米包括経済協議の進展によりスーパー301条の不適用を示唆。 	<p>読売940305夕 読売940306</p>
1994/3/6	日	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相の佐川資料提出に法務省と検察庁は難色を示す。 ・羽田外相はIAEAの査察次第で北朝鮮に経済制裁を科す可能性を示唆。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生党に加藤・西岡両グループ10人が合流の可能性。 ・大内民社党委員長は、内閣改造は通常国会後が望ましいと発言。 ・社民・リベラル勢力結集に、社会党の村山委員長・久保書記 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京地検が中村前建設相に出頭要請。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリントン大統領の政治資金疑惑でナスバウム法律顧問が引責辞任。 	<p>読売940307</p>

1994/3/7	月	<ul style="list-style-type: none"> ・中国に核実験自粛を要請。 ・衆院予算委員会は8日に審議日程を再協議することを決定。 ・鳩山官房副長官が代表者会議に常時出席となる。 ・行政改革委員会の設置法案がまとまる。 ・細川は経済・行政改革に全力を挙げると発言。 ・佐川資料については、関係省庁は検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議で予算委員会を前に連立与党での結束を確認。 ・小沢新生党代表幹事が代表者会議と政府与党首脳会議を欠席。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河野総裁は国会代表質問で対決姿勢を鮮明に打ち出す。 ・中村前建設相は出頭を拒否。検察は関係者からの資料押収と逮捕許諾請求へ。 		読売940308
1994/3/8	火	<ul style="list-style-type: none"> ・政治改革修正法公布と衆院選挙区画審議会設置法の施行令を閣議決定。 ・中村前建設相の逮捕許諾請求について、三ヶ月法相は検察の方針を了承。内閣では持ち回り閣議で決める見通し。 ・細川首相は年内の税制改革を強調。また、与党結集を目指す。衆院は中村前建設相の逮捕許諾へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本新党の党五役が決定。 ・連立与党は逮捕許諾請求に応じる方向。 ・日本新党は事務局系と反事務局系で二分化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本政調会長は中村前建設相の逮捕許諾請求に対し、慎重対応を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国で政治改革法案が成立。 	読売940308夕 読売940309
1994/3/9	水	<ul style="list-style-type: none"> ・日米包括協議の打開をめざし、小沢氏訪米へ。 ・衆議院運営委員会は逮捕許諾の審査を開始。 ・細川首相はカンボジア両首相と会談。 ・市場開放策は6月をめどに2段階策定の方針。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党政策集団は参院選へ向け与党統一会派結成を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中村前建設相が自民党離党。 ・佐川資料の不提出回答に反発し、衆院予算委員会の審議入りは見送られる。 ・逮捕状請求の根拠である供述調書の提供を要求も、法務省に拒否される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島の石川会長が参考人として聴取。 ・クリストファー米国務次官が来日。 	読売940309夕 読売940310
1994/3/10	木	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相は小沢氏の訪米準備知らず。米国務次官と会談。 ・佐川資料提出が難航し、衆院予算委員会の審議入りは14日以降に決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本新党は他党との交流窓口設置。 ・自民党との交渉窓口の設置を検討。 ・参院での統一会派結成へ実現図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党執行部は中村前建設相の逮捕許諾を党一任を要請。 		読売940310夕 読売940311

1994/3/11	金	<ul style="list-style-type: none"> ・衆院本会議で全会一致で中村前建設相の逮捕許諾。中村前建設相は逮捕される。 ・コメ問題における政府の対応の甘さに関係からも批判の声。 ・細川首相の1億円借金問題で予算委員会のめどが立たず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会党首脳は参院の統一会派構想は衆院に連動しないと発言。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小淵派議員を中心に約40人が本会議を欠席。 ・細川首相の佐川急便からの1億円借り入れ問題に標準。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コメのセット販売は独禁法に触れず。 	読売940312
1994/3/12	土	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用サミット出席に向け、坂口労相が米に出発。 ・与野党国対委員長が15日に日程などを協議へ。 ・衆院選挙区画定審議会の会長に石川前慶應義塾長を起用へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民社党に与党間交流のためのプロジェクトチームが発足へ。 ・大内民社党委員長が、社民リベラル構想は社会党左派との決別が前提と表明。 ・日本新党の新執行部は衆院での大統一会派結成に向け、新生党と共同歩調に合意へ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中村前建設相は容疑を全面否認。 ・Jリーグが開幕。 	読売940312夕 読売940313
1994/3/13	日	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相は政策研究会の具現化を日本新党に指示。 ・羽田外相は19日にも首脳会談に備え、訪露。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田新生党党首は与党統一へ各党に働きかけ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・カンター米通商代表は携帯電話制裁回避を発表。 ・中村前建設相は黙秘を続け、10日間の拘束決定。 	読売940314
1994/3/14	月	<ul style="list-style-type: none"> ・行改推進本部が初会合。 ・日切れ法案の年内成立微妙に。 ・衆院選挙区画定審議会の委員が固まる。25日任命。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議で選挙協力協議の場作り合意。 ・市川公明党書記長が「新・新党」結成に自民党の渡辺美智雄元副総裁に参加呼びかけ。 ・小沢新生党代表幹事が与党代表者会議と政府与党首脳会議を 	<ul style="list-style-type: none"> ・国防関係部会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エクアドル大統領が来日。 ・アメリカは厚木基地建設で談合があったとし、七十数社に11億円の賠償請求。 	読売940314夕 読売940315
1994/3/15	火	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相はエクアドル大統領と会談。 ・武村官房長官は7月のサミットまでに税制改革方針を取りまとめることを表明。 ・国対委員長会談もこう着状態打開できず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村山社会党委員長は、与党単独審議も視野に。 ・小沢新生党代表幹事が日本新党の全議員と懇談。また、訪米は取りやめ。 ・新生党と日本新党が来月にも統一化派結成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河野総裁は細川首相の1億円借り入れ問題で退陣要求も。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モンデール米駐日大使は、市場開放策に新提示あれば、包括会議再開の用意。 	読売940316
1994/3/16	水	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相は1億円借り入れ問題での資料提出拒否。 ・市場開放策で欧米並みの規制緩和に。 	<ul style="list-style-type: none"> ・久保社会党書記長は政策一致を前提に、2大勢力体制には柔軟態勢を示す。自民党の審議入り拒否が続けば、強行採決も辞 ・村山社会党委員長が参院での与党統一会派結成を容認。 ・来月にも統一会派結成へ与党間協議。 ・新生党との統一会派構想で、日本新党に動揺広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自民党各派幹部の会合で佐川借金を徹底追及一致。 ・小里国対委員長は6月減税実施に向け、日切れ法案処理の方針。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮は重要査察拒否。 	読売940317
1994/3/17	木	<ul style="list-style-type: none"> ・衆院予算委員会の審議入りは来週以降に。 ・衆院選挙区画定審議会の委員人事に関する閣議決定は週明けに先送り。 ・コメの追加輸入を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村山社会党委員長が参院での与党統一会派結成を容認。 ・来月にも統一会派結成へ与党間協議。 ・新生党との統一会派構想で、日本新党に動揺広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相の1億円借り入れ問題の調査会を設置。 		読売940318

1994/3/18	金	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相は1億円借り入れ問題での資料提出や証人喚問に今後も応じず。 ・市場開放策協議は来週後半に。 ・国会対策委員長会談で日切れ法案と暫定予算案を年度内に審議することを合意。予算案審議の開始は来月にズレ込みも。 ・大統一会派の前段として、来月にも政策研究会を発足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・久保社会党書記長は衆院の統一化派構想を条件付き容認。 ・さきがけ代表の武村官房長官は与党統一会派結成推進に反発。 ・小沢新生党代表幹事が訪欧へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算審議開始のめどが立たない中で、政界再編の動きの活性化を批判。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮の核疑惑、日中韓で対処。 	読売940319
1994/3/19	土	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田外相がロシア外相と非公式会談。 ・予算案審議の見通し立たず。 ・細川首相が訪中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大内民社党委員長が統一会派結成の性急な動きを牽制。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森自民党幹事長が統一会派作りを批判。 ・渡辺元副総裁が1億円借り入れ問題に対する細川首相の対応を 		読売940320
1994/3/20	日	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相が李鵬首相と江国家主席と会談。北朝鮮に対し、厳しい姿勢を強調。 ・羽田外相は解散の可能性を否定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松岡日本新党代表幹事が与党結集に関する武村官房長官の対応を批判。 ・野坂社会党国対委員長は衆院政治倫理審査会の活用を提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森自民党幹事長は1億円借り入れ問題に関した関係書類提出の指示を求める。 ・小里自民党国対委員長は減税法案成立に協力。 		読売940321
1994/3/21	月	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相と羽田外相が中国とロシアからそれぞれ帰国。 			<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮の核査察問題で国連安保理に再付託。 	読売940322夕
1994/3/22	火	<ul style="list-style-type: none"> ・閣僚懇談会で政界再編論議は棚上げし、予算を優先という声が相次ぐ。 ・細川首相は小沢氏・市川氏と会談。衆院選の小選挙区候補者の調整に意欲。 ・日切れ法案と暫定予算の年度内 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡部新生党代表幹事代行は、新生党・日本新党・新党さきがけで新・新党結成も、さきがけの数人は不参加の見通しを示す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中村前建設相の拘置延長決定。 	読売940322夕
1994/3/23	水		<ul style="list-style-type: none"> ・園田新党さきがけ代表幹事が統一会派に慎重論を唱える。 ・7年度以降の減税も法案に盛り込みへ。 ・山岸連合会長が村山社会党委員長に北朝鮮の説得を要請。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細川首相の疑惑に関する調査特別委員会が初会合。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣支持率55%に。 	読売940324
1994/3/24	木	<ul style="list-style-type: none"> ・参院予算委員会で1億円借り入れ問題を集中審議へ。 ・日韓首脳会談で北朝鮮核疑惑で確固たる対応で一致。 ・細川首相・小沢氏・市川氏の会談で次期衆院選小選挙区候補者は与党230人、自民党離党70人の300人の構想が浮上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本新党が統一会派の代表幹事ポストを要求。 ・小沢新生党代表幹事が訪欧に。批判続出。 		<ul style="list-style-type: none"> ・韓国大統領来日。 	読売940325

1994/3/25	金	<ul style="list-style-type: none"> 市場開放策を29日に発表。 日切れ法案が衆院を通過。 細川首相は大統一会派を経ないで、政策研究会から新・新党を目指す方針を固める。 	<ul style="list-style-type: none"> 民社党は一台新党結成を目指す。 社会党・新党さきがけは政策研究会に疑心暗鬼。 	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相1億円借り入れ問題で熊本知事時代の許認可も追及へ。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本コカコーラに150億円の追加徴税。 	読売940326
1994/3/26	土	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相は金沢市内で応援演説。 	<ul style="list-style-type: none"> 田中新党さきがけ代表代行が自民党の一部との連携の可能性を示唆。 	<ul style="list-style-type: none"> 小渕氏は細川首相自身の証言を求める。 河野総裁は資料提出なければ、細川首相に退陣を求める。 		読売940327
1994/3/27	日	<ul style="list-style-type: none"> 羽田外相は政策研究会構想の具現化を急ぐことを求める。北朝鮮への経済制裁は国連の決定に従うことを表明。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立与党推薦の谷本氏が石川県知事選で当選。与党一本化加速も。 	<ul style="list-style-type: none"> 森幹事長は1億円疑惑の解明が進まなければ、退陣が解散を求める。 石川県知事選敗北で執行部へ 		読売940328
1994/3/28	月	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相は1億円借り入れ問題の対応を連立与党に一任。 高齢社会福祉ビジョン懇談会が二十一世紀福祉ビジョンを提出。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本新党内で与党一本化に異論続出。 田辺社会党元委員長が衆院予算委員会空転が長期化すれば、総辞職もあり得るとの見方。 	<ul style="list-style-type: none"> 小里国対委員長が1億円借り入れ問題で細川首相を追及。 	<ul style="list-style-type: none"> 中韓首脳会談で見解にズレ。 	読売940329
1994/3/29	火	<ul style="list-style-type: none"> 社会党と新党さきがけの反発により政策研究会の設立が白紙に。 細川首相はバングラディッシュ首相と会談。 武村官房長官は税制改正を6月中旬に結論を出すことに対外責任を負う考えを示す。 日切れ法案16件が成立。 	<ul style="list-style-type: none"> 松岡日本新党代表幹事らと米沢民社党書記長らの懇談で統一会派作りで一致。 久保社会党書記長らは衆院統一会派に前向き。 			読売940330
1994/3/30	水	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相はNTT株購入を否定。 国連の制裁を想定し、対応策検討 	<ul style="list-style-type: none"> 横路北海道知事が中央政界復帰へ。 		<ul style="list-style-type: none"> アメリカは日本に外国貿易障壁年次報告で計45項目で改善 	読売940331
1994/3/31	木	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相の疑惑巡る集中審議が中断し、暫定予算成立持ち越す。 細川首相は打開策見いだせない 	<ul style="list-style-type: none"> 日本新党執行部が山岸連合会長と懇談。 			読売940401
1994/4/1	金	<ul style="list-style-type: none"> 94年度暫定予算案と参議院予算委員会と本会議で可決され、成立した 		<ul style="list-style-type: none"> 渡辺美智雄元副総理を副総裁に推す構想が浮上。これは党執行部の強化と新党封じの狙いがある 		読売940401 細川日記
1994/4/2	土		<ul style="list-style-type: none"> 民社党が今後二年間、大内委員長・米沢書記長の現体制で臨む方針が固まる 		<ul style="list-style-type: none"> 東京・大阪・名古屋の三大都市圏全体で17年ぶりに転出者数が転入者数を上回った 	読売940402 細川日記
1994/4/3	日	<ul style="list-style-type: none"> 細川首相、西岡氏・小沢氏と昼食 		<ul style="list-style-type: none"> 自民党の森幹事長は細川首相の佐川急便借り入れ問題に対して、政府・連立与党側の事態の正常化に向けた努力不足であると批判した 	<ul style="list-style-type: none"> ペリー米国防長官が北朝鮮が既に一個か二個の核兵器を持っている可能性の他に、年間十二個かそれ以上製造できる核兵器開発計画に着手している 	読売940403 細川日記

1994/4/4	月	細川首相は政府・与党首脳会議で「基本的に佐川の問題もNTT株購入も後ろめたいことはない」と発言した	公明党の市川書記長が社会党の久保書記長や連合の山岸会長の唱える「社民リベラル構想」を厳しく批判	自民党の「政治改革推進議員連盟」の中の有志議員でつくる勉強会「月曜会」が発足した。座長は野田毅党改革本部長	北朝鮮はIAEAの再査察受け入れを求めた国連安全保障理事会の議長声明を非難・拒否し、核不拡散条約脱退を示唆した	読売940404 細川日記
1994/4/5	火	第二回緊急農業農村対策本部、次いで閣議。昼に、衆院本会議にて衆院選挙区画審議会人事案件につき同意を受く	社会党の党税制調査会は新型間接税の導入を含みに、間接税の割合を大きくする税制改革方針案を発表した。社会党の護憲・左派グループなどで作る政策集	自民党小渕派は五日の常任幹事会で、同派の名称を「経世会」から「平成政治研究会」(略称・平政研)に改めるとともに、派閥の事務総長職を廃止するなどの組織改	福井県敦賀市の高速増殖原型炉「もんじゅ」が運転を開始した	読売940405 細川日記
1994/4/6	水	細川首相は五日夜に辞意を漏らしたとされる問題に関して、全面否定した	日本新党は新党さきがけとの合併を断念し、社民連と新会派・「改革」を結成した	自民党各派の事務総長クラスらの幹部が会談し、当面は「妥当細川内閣」に向けて党が一致団結するべきという意見が大勢を占めた	日銀総裁、景気下げ止まりを明言し、景気の底入れが近いとの認識を表明した	読売940406 細川日記
1994/4/7	木	細川首相、西岡氏・小沢氏と昼食カザフスタン大統領と首脳会談	新党さきがけの武村代表は、日本新党の「さきがけとの合併は機関決定していない」発言に対して、強く批判した	社会党の野坂浩賢・国会対策委員長は国会内で、自民党の小里貞利・国対委員長と会い、モロッコで開かれる新多角的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)の閣僚会議出席のため、羽田孜外相が十二日夜から十六日まで国会を離れることへの了解を求めた		読売940407 細川日記
1994/4/8	金	細川首相が辞意を表明する	民社党の大内啓伍厚相は後継首相選びが公明・新生党主導で行われるならば、連立を組む考えのないことを示した		流動性預貯金の金利を、10月から自由化することで大蔵省と郵政省が行為した	読売940408 細川日記
1994/4/9	土	細川首相の元に、朝から夜にかけて日本新党議員が相次ぎ来訪する	社会党・民社党・新党さきがけの三党は現政権の連立の枠組みを維持することで基本的に一致した	自民党の渡辺美智雄元副総理は細川後継政権をめぐる動きが活発化する中で、連立政権はあくまで政策の一致を基本とすることを前提に、自民党としても新生などとの連携を図っていくべきだとの	鹿島石油の小幡社長が、為替先物取引の失敗で1500億円の含み損を発生させたことを発表し、辞意を表明した	読売940409 細川日記
1994/4/10	日	日本新党の議員諸氏が次々に細川の元を訪れる。また、村山社会党委員長から党首会談の呼びかけがあるも、これを断る	民社党の米沢グループは新会派・「改革」に参加する方針。これに大内委員長は反発する		京都府知事選において、連立与党と自民党が推薦した現職の荒巻貞一が三選された	読売940410 細川日記
1994/4/11	月	衆議院議員選挙区画定審議会委員に事例を交付、同審議会の第一回総会に出席する	新党さきがけは「憲法を尊重し政治的軍事的大国主義を排除する」「政策決定の民主制・公開性を高める」などの新政権づくりに臨む基本姿勢を発表した	自民党の渡辺美智雄元副総理は国会での、首相指名選挙に名乗りを上げる方針を固める		読売940411 細川日記

1994/4/12	火	朝、月例経済報告。その後、内外情勢調査会で講演を行う	日本新党の反・新生党系衆議院議員約10名は新生・公明両党に対抗して、党内に新政策集団「グループ勇気と理想」を結成する	自民党が後継首相指名投票に河野総裁の擁立を決める	ビール値上げ	読売940412 細川日記
1994/4/13	水	細川、公邸の書類整理。夜にSPの人たちの慰労の会を行う		渡辺美智雄元副総理も指名投票に出馬する意欲を明らかにし、新党結党を目指して離党する意向を		読売940413 細川日記
1994/4/14	木	夜、木内邸にて榊山典和・石坂泰彦らと懇談	さきがけが連立離脱を示唆する。社会党が村山委員長が提案した党公認の「議員政策研究会」が初会合を開く		大手スーパーが酒類値下げ	読売940414 細川日記
1994/4/15	金	官邸クラブとのお別れ懇親会。その後、佳代子と共にモンデール大使夫妻から公邸での食事に招かれる	日本新党と民社党は合同政策勉強会「豊かなくらし研究会」を結成することで合意した	鹿野道彦前総務庁長官らが自民党の選挙制度改革推進派の5人が離党し、新党みらいを結成。河野・渡辺会談が行われるも不調に	新ラウンド決着、WTO設立	読売940415 細川日記
1994/4/16	土	内田健三・佐々木毅両教授とホテル西洋で昼食。夜、石原信雄副長官・内政・外政・安保室長らと夕食		自民党のリベラルズの太田誠一代表ら5人も離党	北朝鮮の金主席は、核兵器保有を否定した	読売940416 細川日記
1994/4/17	日	羽田副総理、マラケシュから帰国。細川は終日、書類整理を行う	日本新党の五十嵐ふみひこ両院議員総会副会長ら衆議院議員三人が日本新党を離党する	渡辺美智雄、離党を言明	ロッテルダム・マラソン女子で朝比奈三代子が日本新記録で優勝した	読売940417 細川日記
1994/4/18	月		社会党中間派議員約三十人が政界再編での社民・リベラル勢力結集に向けての政治理念や政策などを研究する「月曜勉強会」	渡辺美智雄は新生党など連立与党の協力が得られないと判断し、離党を見送り、指名投票への出馬を断念する意向を固めた	93年の貿易黒字がこれまでの最高だった92年度に比べて、10.0%増加した	読売940418 細川日記
1994/4/19	火	観桜会で上京の熊本後援会の人たちと交流する	新生党は無所属の石破茂衆議院議員と自民党を離党した小坂憲次衆議院議員の入党を内定し	自民党は首相指名選挙の候補を河野総裁に一歩化して臨む		読売940419 細川日記
1994/4/20	水	朝、新宿御苑にて桜を観る会。夜、武村官房長官・鳩山副長官と赤坂プリンスホテルでお別れ食事		太田誠一らを中心に自由党を結成	日本の94年の実質経済成長率は0.7%で、これはG7最低であった	読売940420 細川日記
1994/4/21	木				イスラエル、入植地撤退を表明	読売940421 細川日記
1994/4/22	金	午後、院内で党首・代表者会議。各党首が合意文章に署名する	羽田新政権に向けて、与党代表者会議において重要政策に関する新内閣の方針について合意が取れる	自民党総裁直属機関として「党基本問題調査会」を設置し、会長に小淵派会長の小淵恵三を起用する方針を固めた	韓国の李会昌首相が北朝鮮の核問題などをめぐる閣内不一致から突然の辞表を提出した	読売940422 細川日記
1994/4/23	土	針山の新居に行き、荷物の整理をする	連合与党の首相指名選挙の候補に上がった羽田孜は二大政党制を目指す立場から、統一会派の設立に強い意欲を示した			読売940423 細川日記

1994/4/24	日	終日荷物整理		自民党の河野総裁は、抜本的な党改革に本格的に取り組む意向を固めた	ワシントンで開かれたG7において、日本に対して内需拡大策の追加を求め、米国は所得税減税を大幅に先行させることを要	読売940424 細川日記
1994/4/25	月	臨時閣議にて総辞職。また、この日羽田内閣が発足する	大内啓伍民社党委員長の呼びかけで、新生・日本新党・民社などの五党会派の30人で統一会派・改新を結成した	衆院各委員会において、自民党の理事のポストが26減少する		読売940425 細川日記
1994/4/26	火		社会党は新会派・改新の結成に反発し連立政権離脱を決めた	参院自民党の林寛子議員は新生党や民社党などで作る「新緑風会」に入会した	中華航空の台北発エアバスが名古屋空港で着陸に失敗し墜落、炎上し、乗客乗員271人の内、263人の死亡が確認された	読売940426 細川日記
1994/4/27	水		新党さきがけ(15人)と衆院内会派のグループ青雲(3人)は新会派「青雲・さきがけ」の結成で一致した	自民党の海部元首相や後藤田元副総理らをメンバーとする自民党の勉強会「月曜会」(座長・野田毅)が会の名称を「高志会」と変えるこ	自動車の93年度の輸出台数は前年比18.3%減少し、五百万台割った	読売940427 細川日記
1994/4/28	木	皇居にて羽田孜新総理の新任式に侍立する		予定されていた社会党と自民党の国会対策委員長会談が社会党側の申し入れにより、中止となった	イタリアのスカルファロ大統領は、3月の総選挙で第一勢力になった右派連合の中核であるフォルツァ・イタリアのベルルスコーニ党首を首相に指名した	読売940428 細川日記